

TNS通信PKG(新規版) インストールマニュアル

Windows版

本書はTNS通信PKG新規版のインストールで利用するマニュアルです。

株式会社トヨタシステムズ

2019年1月1日

ver.2.0

総ページ数 91

日付	版数	改訂内容
2003/09/24	1.0	・全面改訂。
2009/01/30	1.1	・TNS通信PKG Windows XP版配布に伴い、導入対象OSの選択画面を変更。 ・ファイアウォール設定解除を追加。
2010/02/11	1.2	・表紙改訂。 ・改訂履歴の管理方法を変更(NNNからN.N)。 ・「11. 振分け情報の受信」の確認内容を変更。 ・問い合わせ先を追加。 ・表現方法の見直し。
2010/10/01	1.3	・自動ログオフタイマーの初期値変更に伴い、システム環境設定画面を変更。
2011/02/14	1.4	・TNS通信PKG Windows7版配布に伴い、導入対象OSの選択画面を変更。 ・Windows7の場合のファイアウォール設定解除手順を追加。
2011/04/01	1.5	・TNS通信PKG Windows Server 2008版配布に伴い、導入対象OSの選択画面を変更。 ・Windows Server 2008の場合のファイアウォール設定解除手順を追加。
2012/08/20	1.6	・TNS通信PKG Windows Server 2008 R2版配布に伴い、インストール画面を変更
2014/02/17	1.7	・TNS通信PKG Windows Server 2012 版配布に伴い、インストール画面を変更 ・Windows Server 2012の場合のファイアウォール設定解除手順を追加。
2014/04/07	1.8	・TNS通信PKGエラー事例集Webページの案内を追加 ・プロセス固有情報のCD-ROM配布による修正
2015/09/16	1.9	・データ送受信テスト時の宛先間違い防止に伴う修正
2018/04/09	1.10	・一部画像を修正
2019/01/01	2.0	・会社名変更

はじめに

準備して頂くもの

インストール作業にあたり、以下の情報を準備して頂く必要があります。

準備していただく情報は、お客様がご加入されたサービス内容により異なりますのでご注意ください。

①DIEX(汎用)サービスのみにご加入

No.	インストール作業に必要な情報	内容
1	「u-DIEX(汎用)サービス TNS通信PKG(新規版)」のCD-ROM	TNS通信PKGが入ったCD-ROM
2	「EDI-ID登録完了のご案内」の資料	汎用蓄積サービスのユーザーパラメータ情報

②u-DIEX(汎用)サービスのみにご加入

No.	インストール作業に必要な情報	内容
1	「u-DIEX(汎用)サービス TNS通信PKG(新規版)」のCD-ROM	TNS通信PKGが入ったCD-ROM
2	「プロセス固有情報 OXXXYYY_UDCOM. ca」 の記述のあるフロッピーディスク またはCD-ROM (‘OXXXYYY’はEDI-ID)	u-DIEX(汎用)サービスご利用に必要なプロセス固有情報を保存したフロッピーディスクまたはCD-ROM
3	「プロセスID登録完了のご案内」の資料	プロセスID登録内容の資料

③DIEX(汎用)、u-DIEX(汎用)サービスにご加入

No.	インストール作業に必要な情報	内容
1	「u-DIEX(汎用)サービス TNS通信PKG(新規版)」のCD-ROM	TNS通信PKGが入ったCD-ROM
2	「プロセス固有情報 OXXXYYY_UDCOM. ca」 の記述のあるフロッピーディスク またはCD-ROM (‘OXXXYYY’はEDI-ID)	u-DIEX(汎用)サービスご利用に必要なプロセス固有情報を保存したフロッピーディスクまたはCD-ROM
3	「プロセスID登録完了のご案内」の資料	プロセスID登録内容の資料
4	「EDI-ID登録完了のご案内」の資料	汎用蓄積サービスのユーザーパラメータ情報

インストール作業に必要な環境

No.	インストール作業に必要な環境	条件
1	導入対象端末	インストールするドライブの空き容量が50MB以上(推奨200MB以上)であること
2	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	OSがWindows Server 2012 の場合 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1が事前にインストールされていること

**注意****ご加入するIDが複数ある場合**

ご加入するIDが複数ある場合、弊社から送付している資料の組合せも複数になります。

特に、**DIEX(汎用)サービス/u-DIEX(汎用)サービスの両方にご加入のお客様**は
同一のEDI-IDの「EDI-ID登録完了案内」、「プロセスID登録完了のご案内」の組合せを
 確認してからインストール作業を行うようにしてください。

「EDI-ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX汎用サービス EDI-ID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・DIEX汎用サービス契約番号	: DHAAXXXX
・アカウント	: OXXX
・EDI-ID	: OXXXYYY
・EDI-IDパスワード	:
・管理サーバーID	: ABCDEFGH
・管理サーバーパスワード	: XXXXXXXX
	・
	・
【設定パラメータ情報】	
・管理サーバーアドレス(プライマリ)	: tdcauth1.tns.ne.jp
・管理サーバーアドレス(セカンダリ)	: tdcauth2.tns.ne.jp
	・
	・
	・

同一情報の組合せを確認する

プロセスID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・会社名	: 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
	・
・旧EDI-ID	: OXXXYYY
・プロセスID	: OXXXYYY@UDCOM
【設定パラメータ情報】	
・u-DIEXゲートウェイFQDN	: p-ftp.u-diex.jp
・u-DIEXゲートウェイポートNo	: 21
・u-DIEXログイン仮パスワード	: ABCDEFG
・受信パス	: /DIEX_COM/UDCOM-OXXXYYY
	・

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

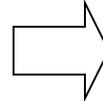
ご加入するサービスによる手順の違い

ご加入するサービスにより、インストール作業の手順が異なります。

ご加入のサービスのマークが付いているページの作業を行う

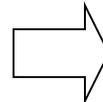
ようお願い致します。

・DIEX(汎用)サービスのみご加入の場合



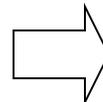
DIEX

・u-DIEX(汎用)サービスのみご加入の場合



u-DIEX

・DIEX(汎用)/u-DIEX(汎用)サービスにご加入の場合



両方

インストール作業手順

DIEX

両方

u-DIEX

1. インストーラーの起動

2. インストール内容の確認

3. ファイアウォール設定解除

4. DIEX/u-DIEX環境の設定

5. DIEX/u-DIEXのユーザー登録

6. システム起動

7. 利用者名称の切替

8. パスワード登録

9. データ送受信テスト準備

10. データ送受信テスト
(DIEX(汎用)センターとのテスト)

11. 振分け情報の受信

12. データ送受信テスト
(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

13. 完了連絡

ご加入のEDI-ID分
(またはプロセスID分)
行います
「但し項番5は一括、項番
9は1回のみ実施」

作業目的

TSより配布しましたTNS通信PKG(新規版)のインストーラーを起動します。

Windows Server 2008 R2(64bit)又はWindows Server 2012 の場合は1-2項の作業を行って下さい。

※ ご利用端末の設定により、画面イメージが違う場合があります。

1-1. OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 以外の場合

作業手順

①パソコンを起動して、Windowsにログオンします。



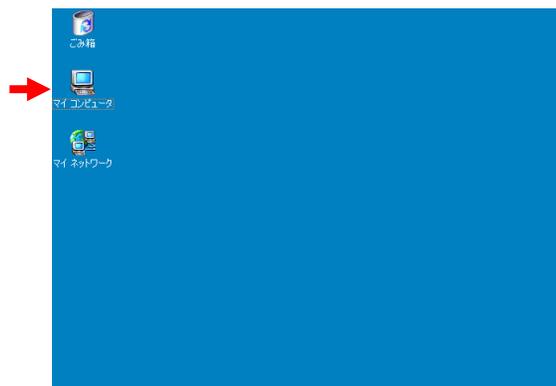
注意

管理者権限のあるユーザーでログオンして下さい

・管理者権限 (administrator権限) のあるユーザーでログオンして下さい。また、インストール後のご使用も、同ユーザーで行ってください。

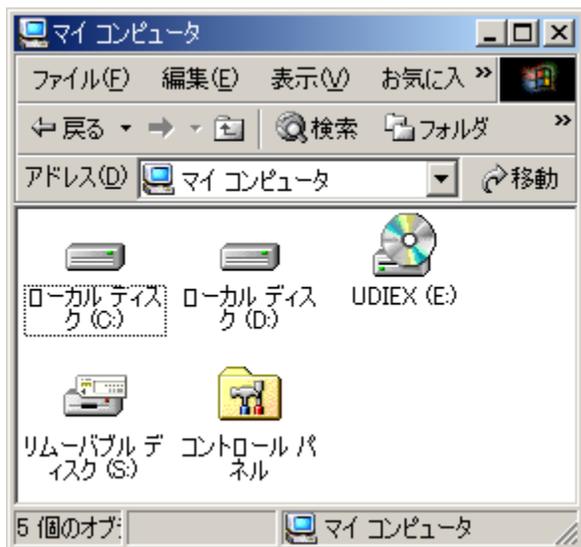
②「TNS通信PKG(新規版)」とシールの貼られたケースに入っているCDを導入対象端末のCD-ROMドライブにセットしてください。

③Windowsのデスクトップより「マイ コンピュータ」を選択します。



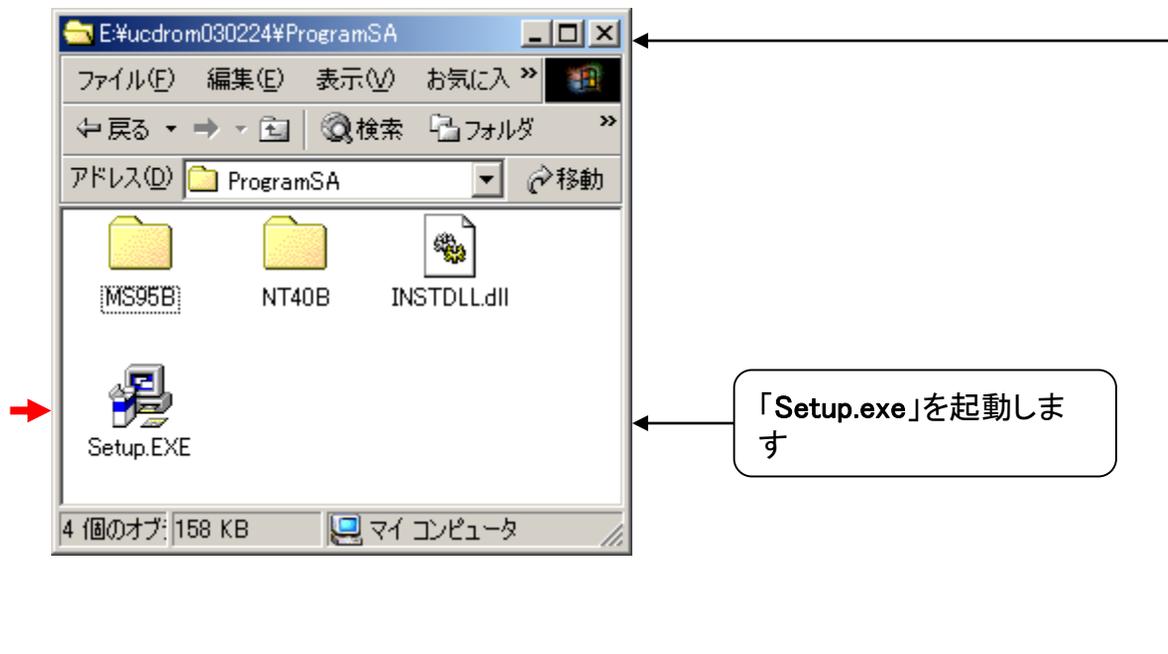
「マイ コンピュータ」を選択します

④「マイ コンピュータ」から「TNS通信PKG(新規版)」インストール用CD-ROMの入ったドライブを選択し、内容の表示を行います。



インストール用CD-ROMの入ったドライブを選択します
(画面ではEドライブ)

⑤ CD-ROMの以下のフォルダーに保存されている「Setup.exe」を選択し、実行します。



保存フォルダー → CD-ROMドライブ:¥ucdromXXXXXX¥ProgramSA

↑
「XXXXXX」部分は任意の値を表示します

⑥ インストール実行画面が表示されますので「次へ(N)」を選択します。「Welcome!」画面を表示します。

1 「初期化中....」を表示します



2 「Welcome!」画面を表示します

3 「次へ(N)」を選択します

1-2. OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 の場合

作業手順

①パソコンを起動して、Windowsにログオンします。

**注意****管理者権限のあるユーザーでログオンして下さい**

・管理者権限 (administrator権限) のあるユーザーでログオンして下さい。また、インストール後のご使用も、同ユーザーで行ってください。

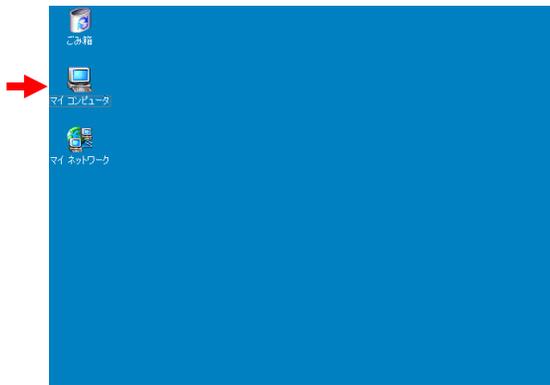
OSが Windows Server 2012の場合

・TNS通信PKGインストール前にMicrosoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1のインストールを行ってください。

※インストールはマイクロソフトのホームページよりインストールできます。

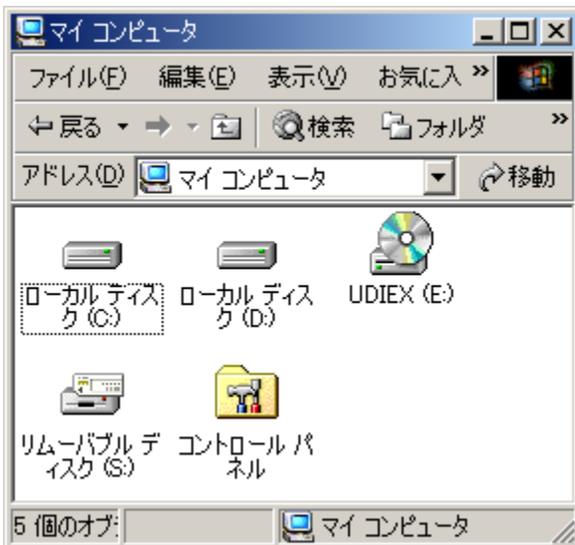
②「TNS通信PKG(新規版)」とシールの貼られたケースに入っているCDを導入対象端末のCD-ROMドライブにセットしてください。

③Windowsのデスクトップより「マイ コンピュータ」を選択します。



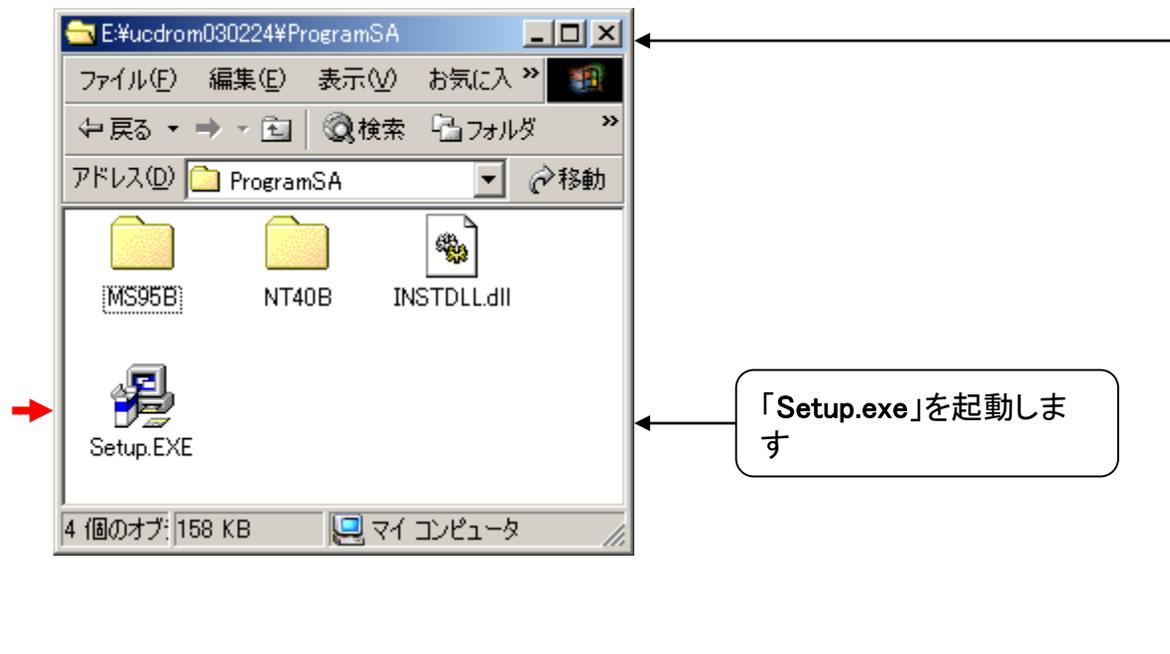
「マイコンピュータ」を選択します

④「マイ コンピュータ」から「TNS通信PKG(新規版)」インストール用CD-ROMの入ったドライブを選択し、内容の表示を行います。



インストール用CD-ROMの入ったドライブを選択します
(画面ではEドライブ)

⑤CD-ROMの以下のフォルダーに保存されている「Setup.exe」を選択し、実行します。



保存フォルダー → CD-ROMドライブ:¥ucdromXXXXXX¥ProgramSA

↑
「XXXXXX」部分は任意の値を表示します

⑥インストール実行画面が表示されますので「次へ(N)」を選択します。

作業目的

インストールプログラムにて導入対象のOSを選択し、プログラムをインストールします

Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 の場合は2-2項の作業を行って下さい。

2-1. OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 以外の場合

作業手順

- ①「システムの選択」画面が表示されます。導入対象端末のOSを選択した後、「次へ」ボタンを選択してください。

導入対象端末のOSを選択します。

Windows NT、Windows 2000、Windows 2003、

Windows XP、Windows 7の場合:

1

「WindowsNT4.0/2000/XP/7 スタンドアローン版」

Windows 95、Windows 98、Windows Meの場合:

「Windows95/98/Me スタンドアローン版」

Windows Server 2008の場合

「Windows Server 2008 スタンドアローン版」

2

「次へ」を選択します

- ②「フォルダーの選択」画面が表示されます。インストール先フォルダーを選択した後、「次へ」をクリックしてください。

1

インストール先フォルダーを確認してください。

変更するときは「参照」ボタンをクリックして変更してください

2

「次へ」を選択します

③「ドライブの選択」画面が表示されます。データ環境フォルダーのインストール先のドライブを指定し、「次へ」ボタンを選択してください。

④インストールの準備が整うと、「インストールの準備を完了しました」と表示されます。「次へ」ボタンを選択し、インストールを開始してください。

1

「次へ」を選択します



2

「インストール中」を表示します

⑤「インストール中」の画面が表示された後、「インストールを完了しました」と表示されます。「完了」ボタンを選択してインストールプログラムを終了させてください。

2-2. OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012の場合

作業手順

- ①「フォルダーの選択」画面が表示されます。インストール先フォルダーを選択した後、「次へ」をクリックしてください。

1

インストール先フォルダーを確認してください。
変更するときは「参照」ボタンをクリックして変更してください

2

「次へ」を選択します

- ②「ドライブの選択」画面が表示されます。データ環境フォルダーのインストール先のドライブを指定し、「次へ」ボタンを選択してください。

1

「インストール」を選択します



2

「インストール状況」を表示します

- ④「インストール状況」の画面が表示された後、完了画面が表示されます。「完了」ボタンを選択してインストールプログラムを終了させてください。

作業目的

OSが Windows XP、Windows 7、Windows Server 2008、Windows Server 2012の場合は、Windows ファイアウォールの設定を解除して、u-DIEX(汎用)サービスを利用できる様にします。Windows XP の場合は3-1項、Windows 7 又はWindows Server 2012 の場合は3-2項、Windows Server 2008の場合は3-3項の作業を行って下さい。

※ ご利用端末の設定により、画面イメージが違う場合があります。



注意

Windows XP、Windows 7、Windows Server 2008、Windows Server 2012 はファイアウォール機能が標準で有効となっています。

ファイアウォールが有効となっている状態で、TNS通信PKGで処理を行った場合、Windowsファイアウォールの警告メッセージが表示され、正常に通信を行うことができません。

3-1. OSが Windows XP の場合

作業手順

①「スタート」メニューから「コントロール」パネルを選択して下さい。



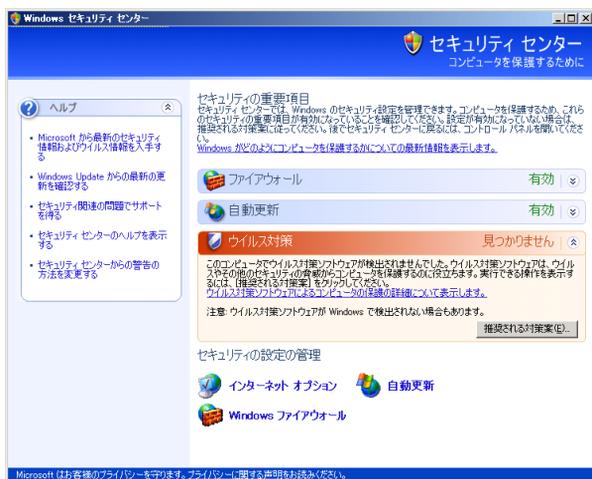
1

コントロールパネルを選択



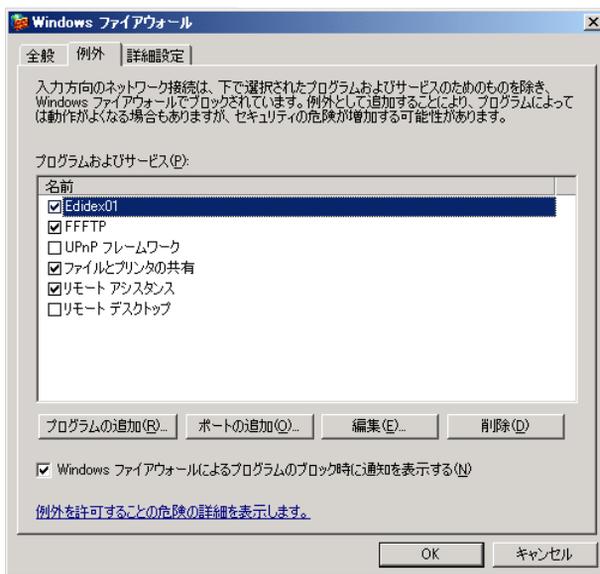
2

セキュリティーセンターを選択



3

「Windowsファイアウォール」を選択

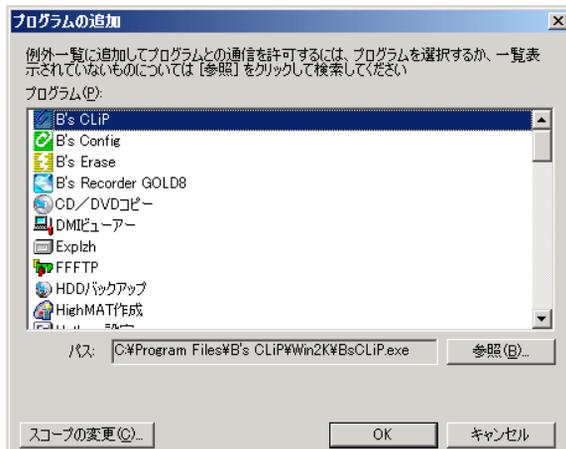


4

「例外」タブを選択

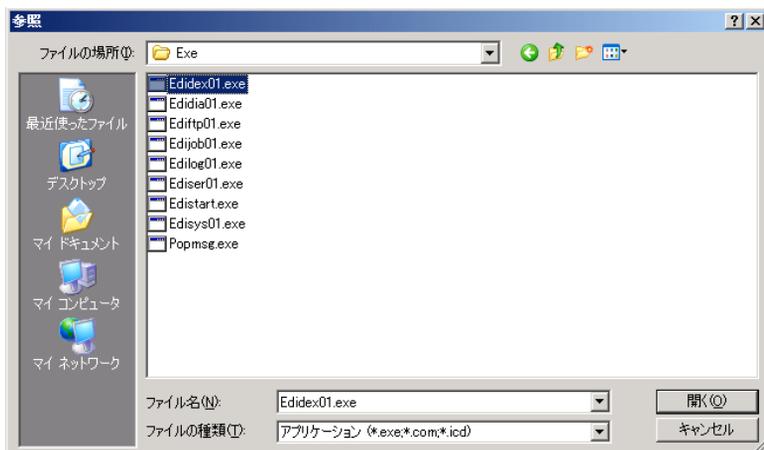
5

「プログラムの追加」を選択



6

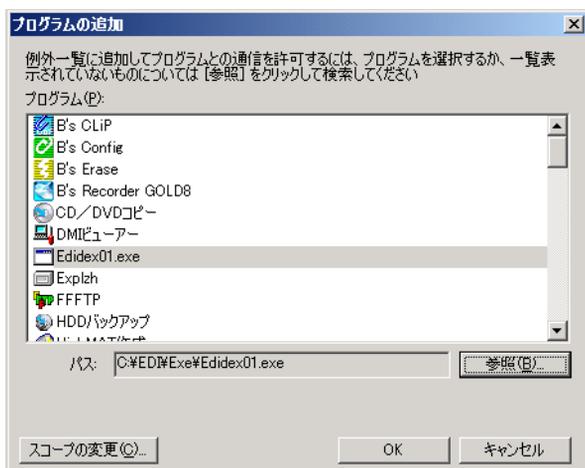
「参照」を選択



7
ファイルの場所は、
「C:¥EDI¥EXE」を選択
※インストールドライブが
Cドライブの場合

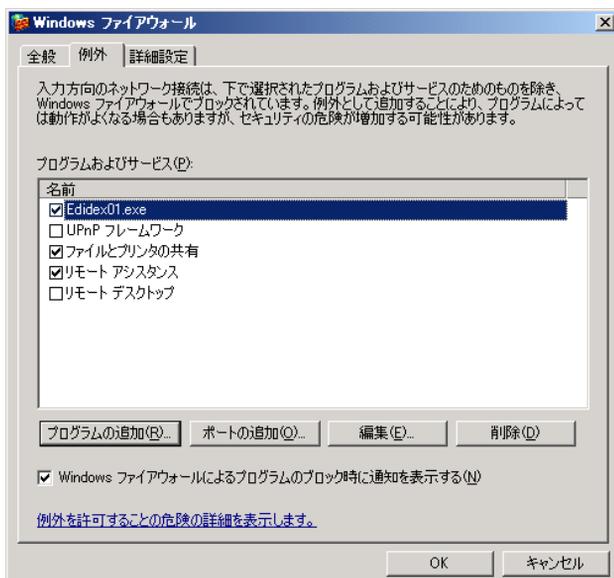
8
対象となるファイルを選択
【対象ファイル】
①Edidex01.exe

9
①ファイルを選択し
「開く」を選択

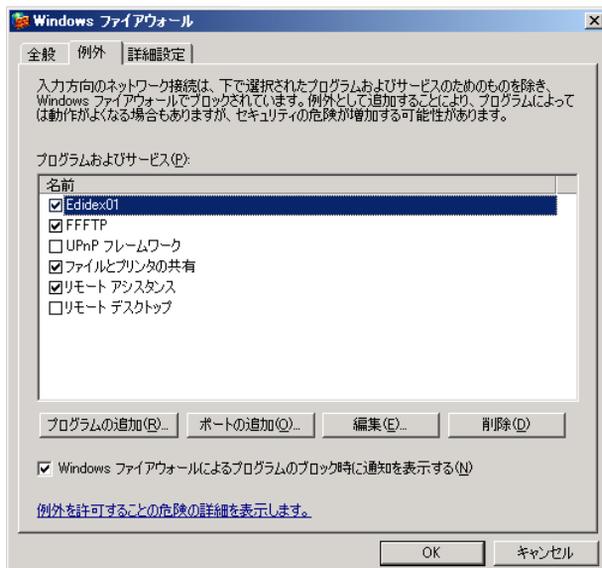


10
①の対象ファイルが表示されている
ことを確認

11
「OK」を選択

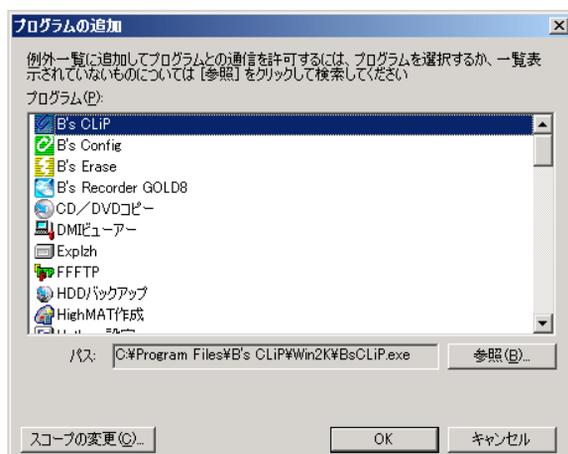


12
①の対象ファイルが表示されている
ことを確認



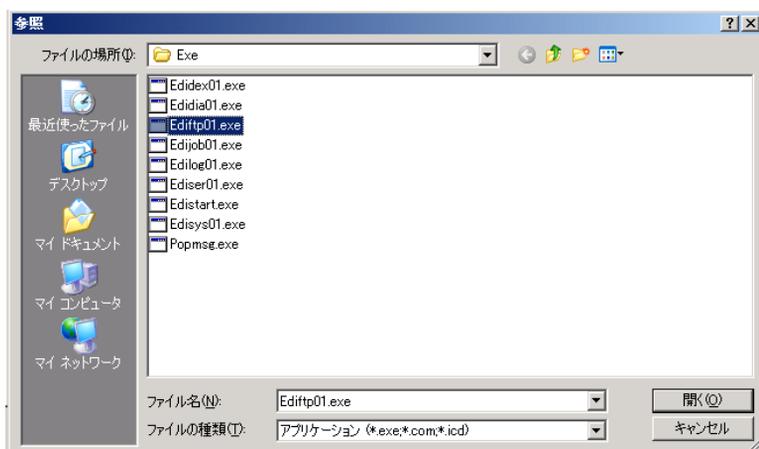
13

「プログラムの追加」を選択



14

「参照」を選択



15

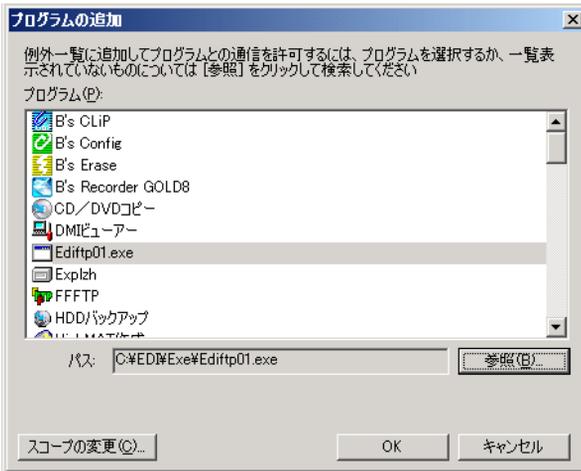
ファイルの場所は、
「C:¥EDI¥EXE」を選択
※インストールドライブが
Cドライブの場合

16

対象となるファイルを選択
【対象ファイル】
②Ediftp01.exe

17

②ファイルを選択し
「開く」を選択

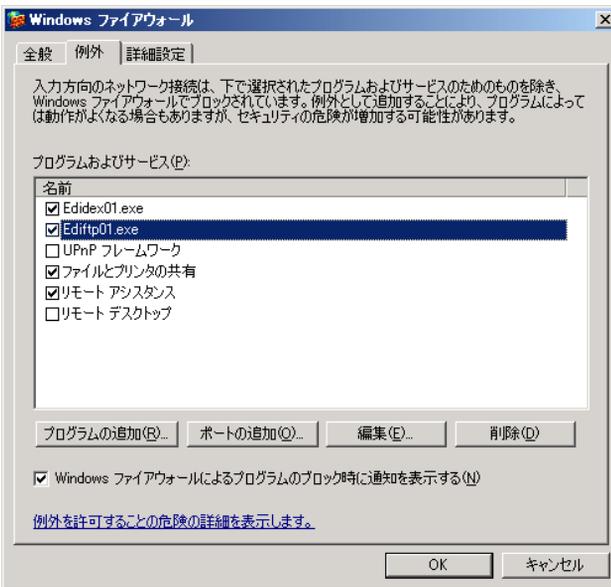


18

②の対象ファイルが表示されていることを確認

19

「OK」を選択



20

②の対象ファイルが表示されていることを確認

21

「OK」を選択

『3. ファイアウォール設定解除』は以上で完了です。
次項『4. DIEX/u-DIEX環境の設定』を実施して下さい。

3-2. OSが Windows 7 又は Windows Server 2012 の場合

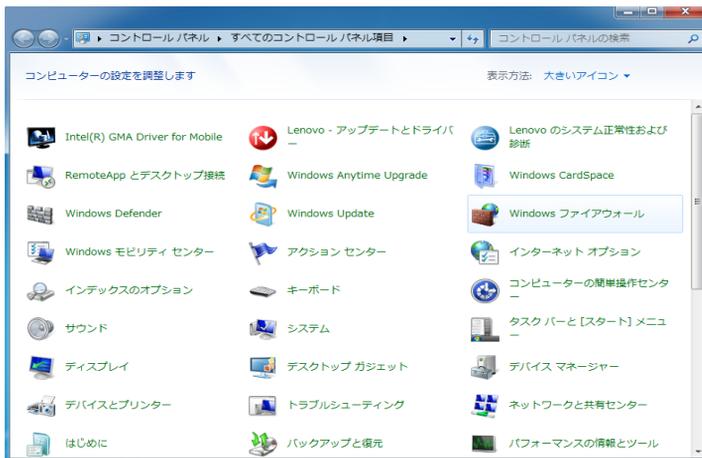
作業手順

①「スタート」メニューから「コントロール」パネルを選択して下さい。



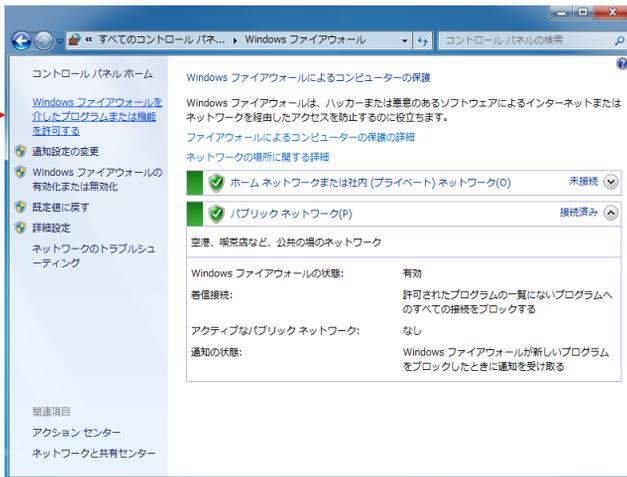
1

コントロールパネルを選択



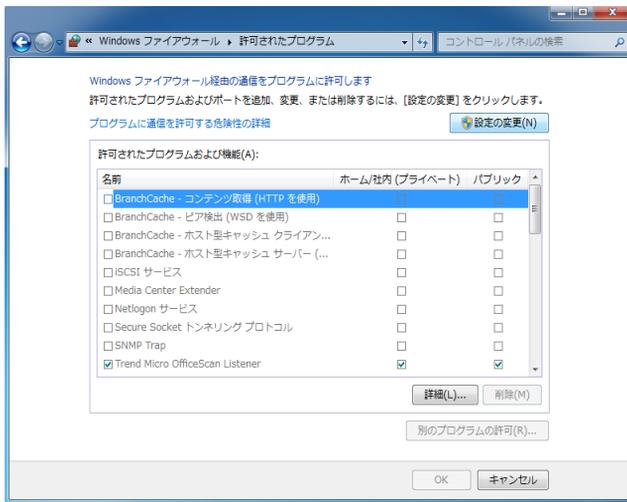
2

「Windowsファイアウォール」を選択



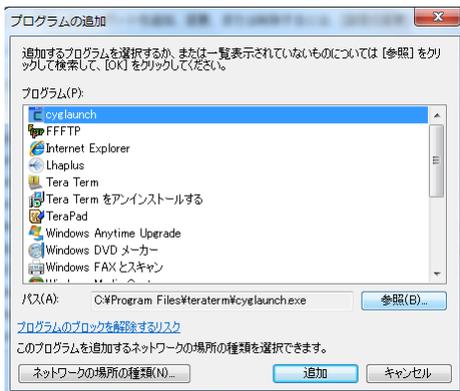
3

「Windowsファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を選択



4

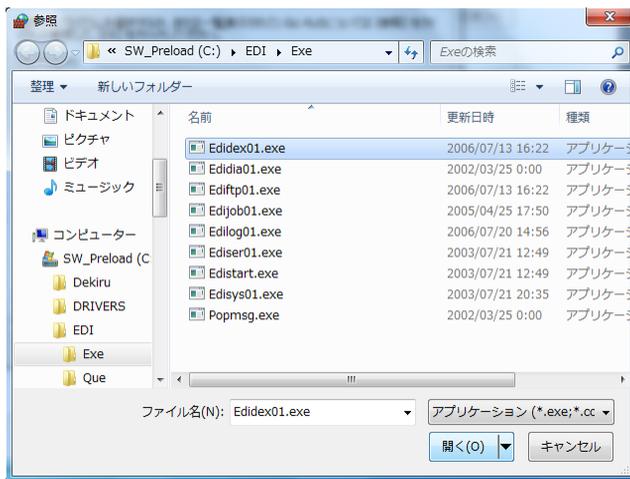
「設定の変更」を選択



6

「参照」を選択

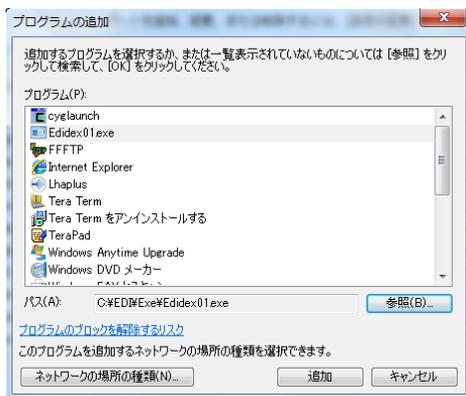




ファイルの場所は、
「C:¥EDI¥Exe」を選択します
※インストールドライブが
Cドライブの場合

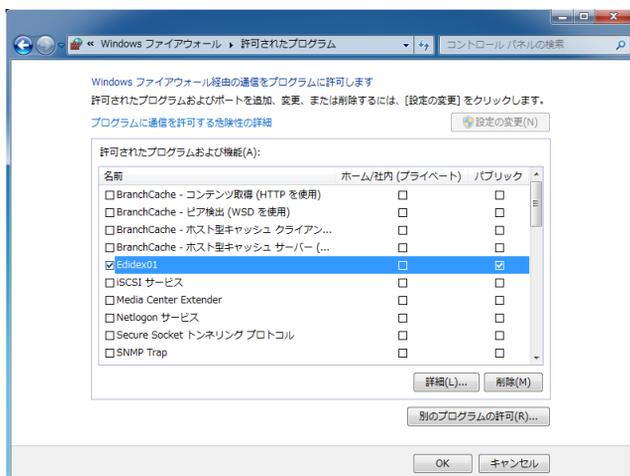
対象となるファイルを選択
【対象ファイル】
①Edidex01.exe

9 「開く」を選択

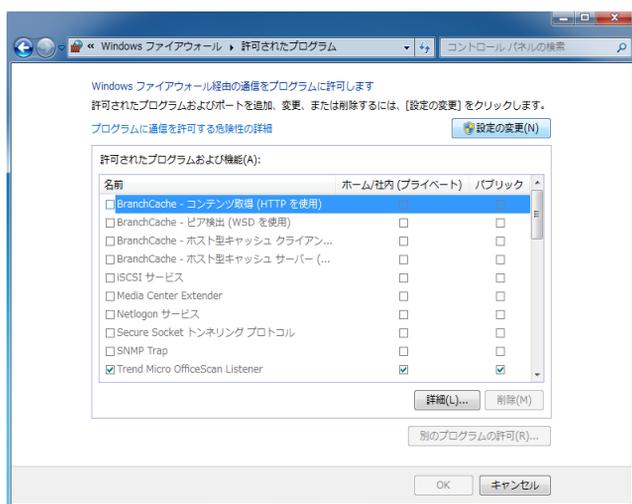


①の対象ファイルが表示されている
ことを確認

11 「追加」を選択

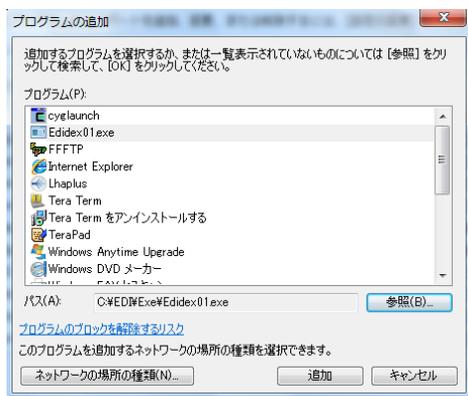


①の対象ファイルが表示されている
ことを確認



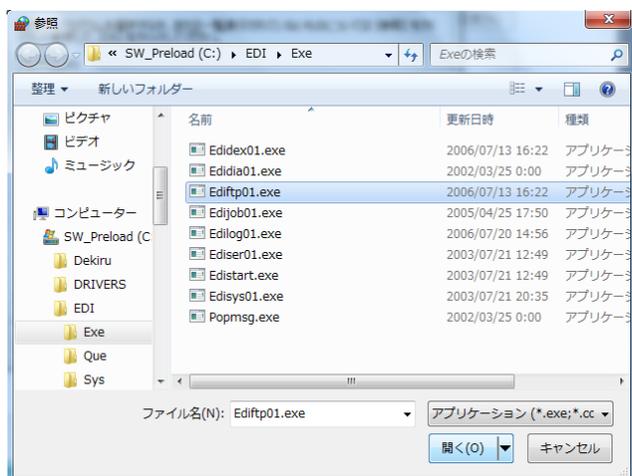
13

「別のプログラムの許可」を選択



14

「参照」を選択



15

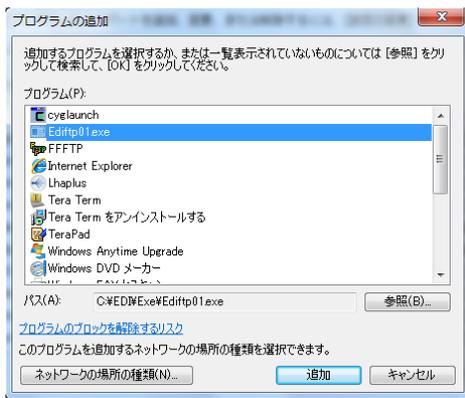
ファイルの場所は、
「C:¥EDI¥Exe」を選択します
※インストールドライブが
Cドライブの場合

16

対象となるファイルを選択
【対象ファイル】
②Ediftp01.exe

17

「開く」を選択

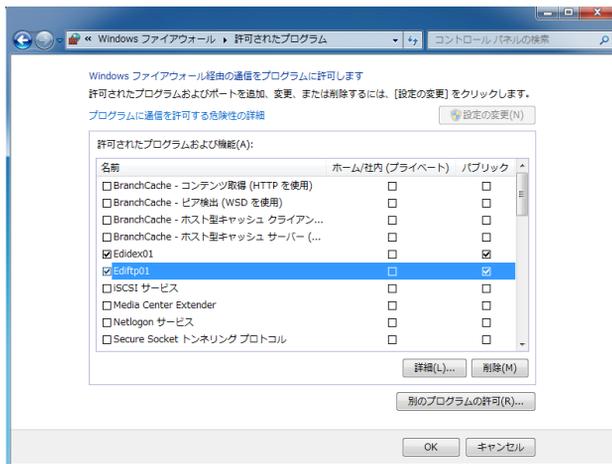


18

②の対象ファイルが表示されていることを確認

19

「追加」を選択



20

②の対象ファイルが表示されていることを確認

21

「OK」を選択

『3. ファイアウォール設定解除』は以上で完了です。
次項『4. DIEX/u-DIEX環境の設定』を実施して下さい。

3-3. OSが Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2(64bit) の場合

作業手順

①「スタート」メニューから「コントロール」パネルを選択して下さい。



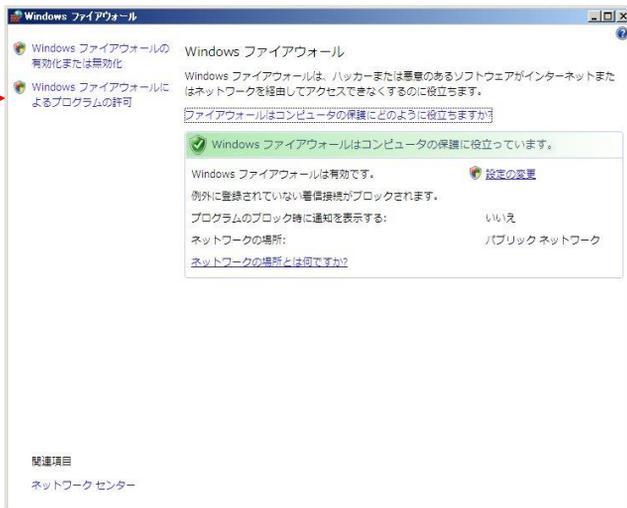
1

「コントロールパネル」を選択



2

「Windowsファイアウォール」を選択



3 「Windowsファイアウォールによるプログラムの許可」を選択

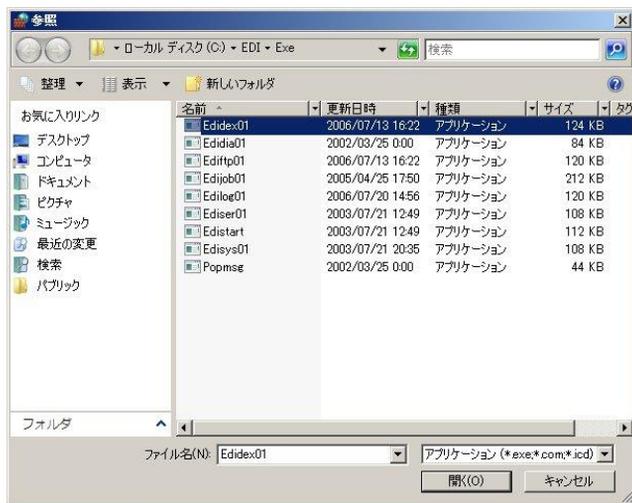


4 (左記画面が表示された場合は)「続行」を選択



5 「例外」を選択

6 「プログラムの追加」を選択





13

①の対象ファイルが表示されていることを確認

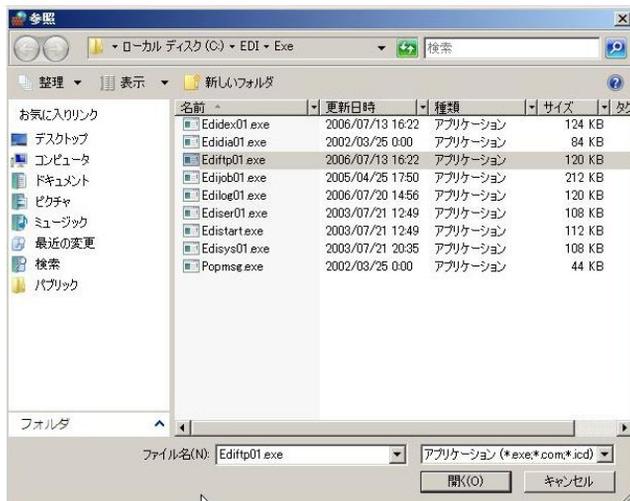
14

「プログラムの追加」を選択



15

「参照」を選択



16

ファイルの場所は、「C:\EDI\Exe」を選択します
※インストールドライブがCドライブの場合

17

対象となるファイルを選択
【対象ファイル】
②Ediftp01.exe

18

「開く」を選択

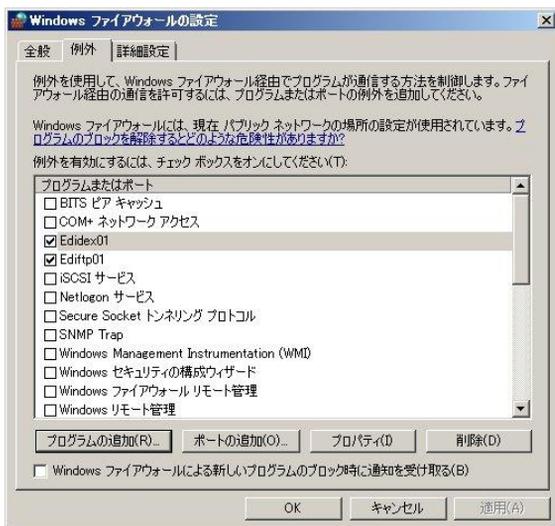


19

②の対象ファイルが表示されていることを確認

20

「OK」を選択



21

②の対象ファイルが表示されていることを確認

22

「OK」を選択

『3. ファイアウォール設定解除』は以上で完了です。
次項『4. DIEX/u-DIEX環境の設定』を実施して下さい。

作業目的

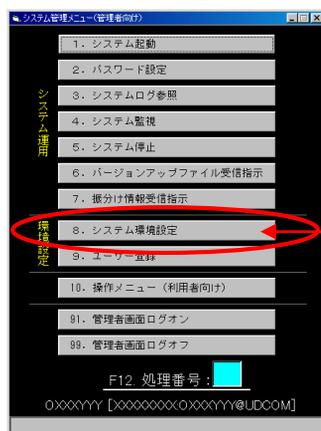
TNS通信PKG(新規版)のインストール完了後、DIEX(汎用)サービスならびにu-DIEX(汎用)サービスを利用するために必要な設定を実施します。

※TNS通信PKGの画面はお客様のOSにより左上のアイコンが異なる場合があります。

作業手順

①端末のWindowsから「スタート」→「プログラム」→「新TNSシステム」→「バッチ管理メニュー」を選択し、「システム管理メニュー(管理者向け)」メニューを表示します。

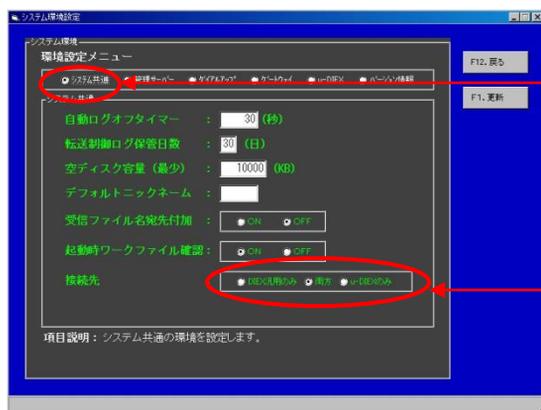
②「システム管理メニュー(管理者向け)」から「8. システム環境設定」を選択します。



「8. システム環境設定」を選択します

③「システム環境設定」画面を表示します。

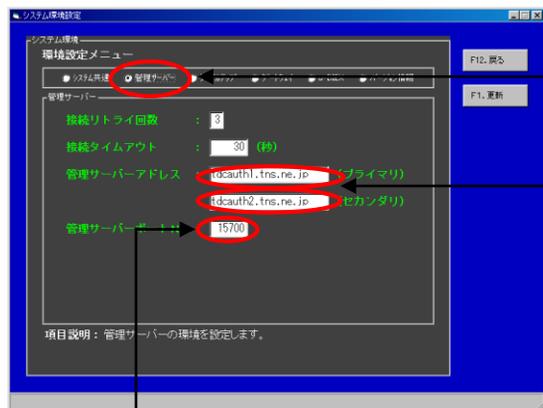
「環境設定メニュー」から「システム共通」を選択し、「接続先」に「両方」を選択します。



1 「システム共通」を選択します

2 「両方」を選択します。

- ④「環境設定メニュー」から「管理サーバー」を選択して、「管理サーバーアドレス」および「管理サーバーポートNo.」欄の内容を確認します。



1 「管理サーバー」を選択します

2 「管理サーバーアドレス」を確認します

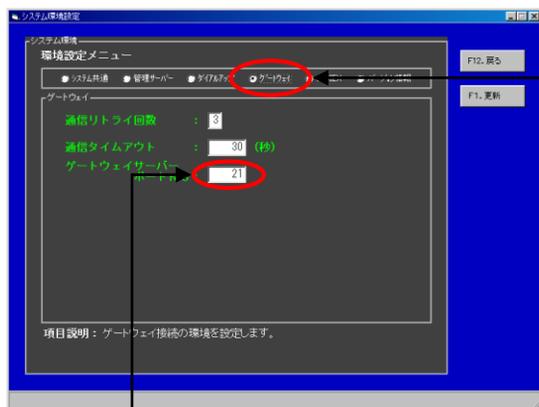
※初期状態で「tdcauth1.tns.ne.jp」および「tdcauth2.tns.ne.jp」が入力されていますが、お客様がJNXにて利用される場合は変更が必要になります

3 「管理サーバーポートNo.」を確認します

「EDI・ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX汎用サービス EDI・ID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・DIEX汎用サービス契約番号	: DHAAXXXX
・アカウント	: OXXX
・EDI-ID	: OXXXYYY
・EDI-IDパスワード	:
・管理サーバーID	: ABCDEFGH
・管理サーバーパスワード	: XXXXXXXX
	:
	:
【設定パラメータ情報】	
・管理サーバーアドレス(プライマリ)	: tdcauth1.tns.ne.jp
・管理サーバーアドレス(セカンダリ)	: tdcauth2.tns.ne.jp
・管理サーバーポートNO	: 15700
・ソフトウェア配布ポートNO	: 15701
・ゲートウェイサーバーポートNO	: 21
	:
	:

- ⑤「環境設定メニュー」から「ゲートウェイ」を選択して、「ゲートウェイサーバーポートNo.」欄の内容を確認します。



1

「ゲートウェイ」を選択します

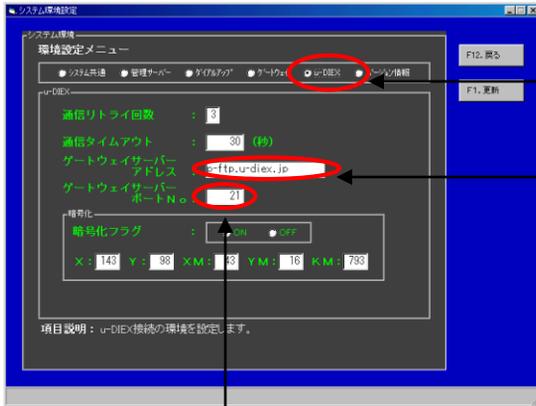
2

「管理サーバーポートNo.」を確認します

「EDI-ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX汎用サービス EDI-ID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・DIEX汎用サービス契約番号	: DHAAXXXX
・アカウント	: OXXX
・EDI-ID	: OXXXYYY
・EDI-IDパスワード	:
・管理サーバーID	: ABCDEFGH
・管理サーバーパスワード	: XXXXXXXX
	:
	:
【設定パラメータ情報】	
・管理サーバーアドレス(プライマリ)	: tdcauth1.tns.ne.jp
・管理サーバーアドレス(セカンダリ)	: tdcauth2.tns.ne.jp
・管理サーバーポートNO	: 15700
・ソフトウェア配布ポートNO	: 15701
・ゲートウェイサーバーポートNO	: 21
	:

- ⑥「環境設定メニュー」から「u-DIEX」を選択して、「ゲートウェイサーバーアドレス」および「ゲートウェイサーバーポートNo.」欄の内容を確認します。



1

「u-DIEX」を選択します

2

「ゲートウェイサーバーアドレス」を確認します

3

「ゲートウェイサーバーポートNo.」を確認します

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

プロセスID登録完了のご案内

...

プロセスID登録完了のご案内

...

【設定情報】

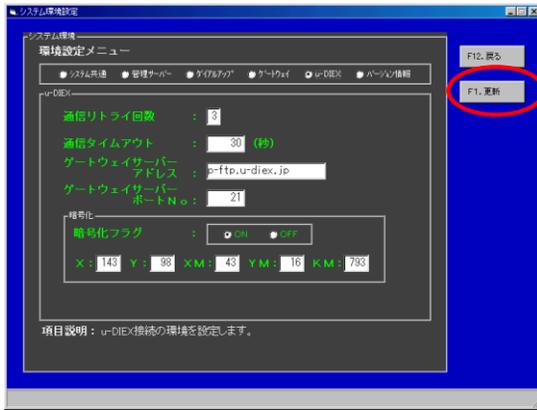
...

【設定パラメータ情報】

・u-DIEXゲートウェイFQDN : p-ftp.u-diex.jp

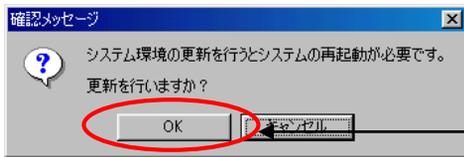
・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21

⑦「F1.更新」ボタンを選択して設定内容を保存します。



「F1.更新」を選択します

⑧システム再起動の確認メッセージが表示されますので「OK」を選択します。



1

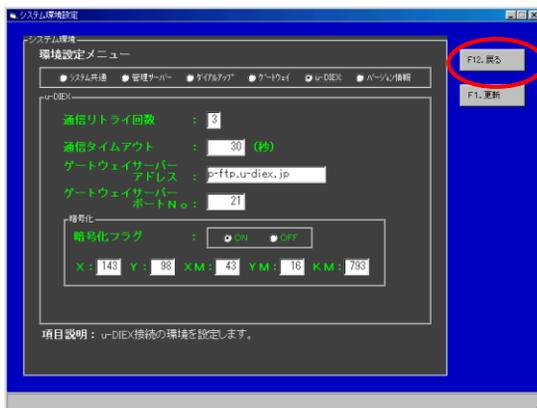
「OK」を選択します



2

「OK」を選択します

⑨「F12. 戻る」を選択し「システム環境設定」画面を終了します。



「F12.戻る」を選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>システム環境設定メニューに含まれる各項目は正しく設定されていますか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「8. システム環境設定」を表示し 設定内容について確認をする → ③ ④ ⑤ ⑥</p> <p>【結果】 間違いなく登録されていることを確認 →</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #cccccc;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #90ee90;">両方</div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">③-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">③-2</div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #90ee90;">両方</div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">④-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">④-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">④-3</div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #90ee90;">両方</div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">⑤-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">⑤-2</div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #cccccc;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #90ee90;">両方</div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">⑥-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">⑥-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">⑥-3</div> </div> </div> </div>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. システム環境設定メニューの変更項目が反映されない場合

(1) システム環境設定メニューの項目変更後、「F1.更新」ボタンを選択していますか？ → ⑦

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は変更内容は反映されません

作業目的

これ以降の作業は「EDI-ID登録完了のご案内」および「プロセスID登録完了のご案内」にあるEDI-ID毎に行います。

作業手順

5. DIEX/u-DIEXのユーザー登録

5の作業はご加入のEDI-ID分、一括して行って下さい

6. システム起動

7. 利用者名称の切替

8. パスワード登録

9. データ送受信テスト準備

10. データ送受信テスト
(DIEX(汎用)センターとのテスト)

7～12までの作業は
ご加入のEDI-ID毎に、
繰り返し行って下さい
「但し項番9は1回のみ実施」

11. 振分け情報の受信

12. データ送受信テスト
(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

管理サーバIDを切替える手順は「7. 利用者名称の切替」の
①～③を参照ください

作業目的

TNS通信PKG(新規版)にてDIEX(汎用)サービスおよびu-DIEX(汎用)サービスを利用するため、u-DIEX用ID(プロセスID)の登録を実施します。

作業手順

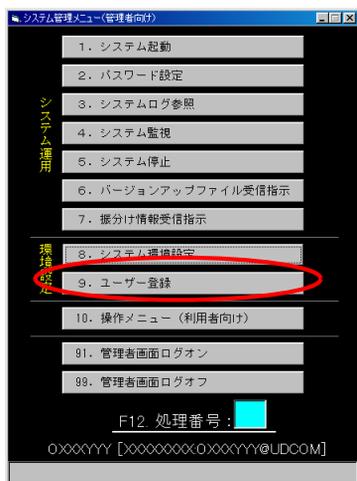


注意 ご加入のEDI-ID(プロセスID)が複数ある場合

本作業(「4. DIEX/u-DIEXのユーザー登録」)は

ご加入のEDI-ID(またはプロセスID)分行ってください。

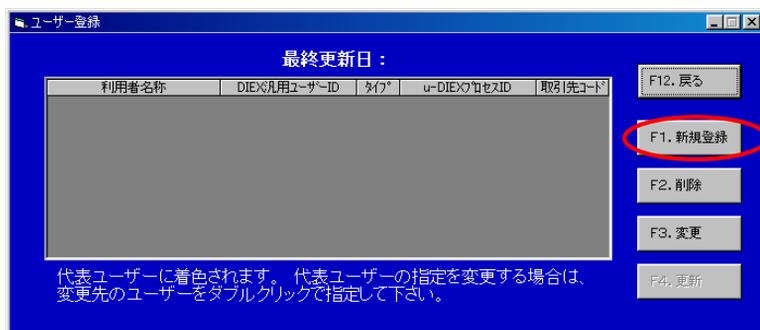
①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「9. ユーザー登録」を選択します。



「9. ユーザー登録」を選択します。

②「ユーザー登録」画面が表示されます。

新規にIDを登録するため、「F1.新規登録」を選択します。



「F1. 新規登録」を選択します。

- ④「ユーザー情報メニュー」から「DIEX汎用」を選択して、「利用者名称」および「取引先コード」を入力します。

1 「DIEX汎用」を選択します

2 「DIEX汎用を利用する」にチェックを入れます

3 「管理サーバーログオンユーザーID」を入力します

4 「管理サーバーログオンパスワード」を入力します

「EDI-ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX汎用サービス
EDI-ID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・DIEX汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
- ・アカウント : OXXX
- ・EDI-ID : OXXXXYY
- ・EDI-IDパスワード : ABCDEFGH
- ・管理サーバーID : XXXXXXXX
- ・管理サーバーパスワード : XXXXXXXX

・

・

【設定パラメータ情報】

- ・管理サーバーアドレス(プライマリ) : tdcauth1.tns.ne.jp
- ・管理サーバーアドレス(セカンダリ) : tdcauth2.tns.ne.jp

・

・

⑤「ユーザー情報メニュー」から「u-DIEX」を選択し、「プロセスID」および「受信パス1」を入力します。

1 「u-DIEX」を選択します

2 「u-DIEXを利用する」にチェックを入れます

3 「プロセスID」を入力します

4 「受信パス1」を入力します

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

プロセスID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
- ・プロセスID : OXXXXYYY@UDCOM

【設定パラメータ情報】

- ・u-DIEXゲートウェイFQDN : p-ftp.u-diex.jp
- ・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21
- ・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG
- ・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYYY

⑥「F1.登録」ボタンを選択してユーザー情報を登録します

ユーザー情報登録

ユーザー情報メニュー

●共通 ●DIEX利用 ●u-DIEX

u-DIEX

u-DIEXを利用する

プロセスID : 0000YY@UDCOM

受信パス1 : /DIEX_COM/UDCOM-0000YY

受信パス2 :

受信パス3 :

受信パス4 :

受信パス5 :

受信パス6 :

受信パス7 :

受信パス8 :

受信パス9 :

受信パス10 :

F1.登録

F12.戻る

1

「F1.登録」を選択します

⑦「ユーザー情報登録」画面を表示しますので、「F4.更新」を選択して登録内容を保存します。

ユーザー登録

最終更新日 : 03/01/29 16:04:48

利用者名称	DIEX利用ユーザ-ID	タイプ	u-DIEXのID	取引先コード
0000YY	XXXXXXXX	正規	0000YY@UDCOM	9999000

F12.戻る

F1.新規登録

F2.削除

F3.変更

F4.更新

代表ユーザーに着色されます。代表ユーザーの指定を変更する場合は、変更先のユーザーをダブルクリックで指定して下さい。

1

「F4.更新」を選択します

確認メッセージ

ユーザーの更新を行うとシステムの再起動が必要です。
更新を行いますか？

OK

キャンセル

2

「OK」を選択します

メッセージ

ユーザー情報を更新しました。システムを再起動して下さい。

OK

3

「OK」を選択します

⑧「F12.戻る」ボタンを選択して「ユーザー登録」画面を終了します。

ユーザー登録

最終更新日 : 03/01/29 16:04:48

利用者名称	DIEX利用ユーザ-ID	タイプ	u-DIEXのID	取引先コード
0000YY	XXXXXXXX	正規	0000YY@UDCOM	9999000

F12.戻る

F1.新規登録

F2.削除

F3.変更

F4.更新

代表ユーザーに着色されます。代表ユーザーの指定を変更する場合は、変更先のユーザーをダブルクリックで指定して下さい。

「F12. 戻る」を選択します。

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>ユーザー情報メニューに含まれる各項目は正しく設定されていますか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「9. ユーザー登録」を選択し、「ユーザー情報登録」画面を確認する → ①～⑤</p> <p>【結果】 登録に間違いが無いことを確認 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #cccccc;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #90ee90;">両方</div> </div> <div style="text-align: center;">③-1</div> <div style="font-size: 24px;">~</div> <div style="text-align: center;">③-3</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #90ee90;">両方</div> </div> <div style="text-align: center;">④-1</div> <div style="font-size: 24px;">~</div> <div style="text-align: center;">④-4</div>	

u-DIEX

両方

⑤-1

~

⑤-4

ご加入の全IDのユーザー登録作業でOKならば
次ページに進んでください。

ユーザー登録が済んでいないIDがある場合、
「5. DIEX/u-DIEXのユーザー登録」を行ってください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. ユーザー登録情報の変更項目が反映されない場合

(1) 「ユーザー情報登録」画面の項目を変更した場合、「F1. 登録」ボタンを選択していますか？
→ ⑥-1

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は、変更内容は保存されません

(2) 「ユーザー登録」画面において「F4. 更新」ボタンを選択していますか？ → ⑦-1

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は、変更内容は保存されません

作業目的

u-DIEX(汎用)サービス利用の為、TNS通信PKGをシステム起動します。

作業手順

①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「1. システム起動」を選択します。

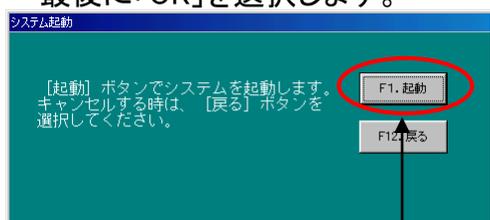


「1. システム起動」を選択します

②システム起動確認の画面が表示されます。

「F1.起動」を選択してTNS通信PKGのシステム起動を実施してください。

最後に「OK」を選択します。

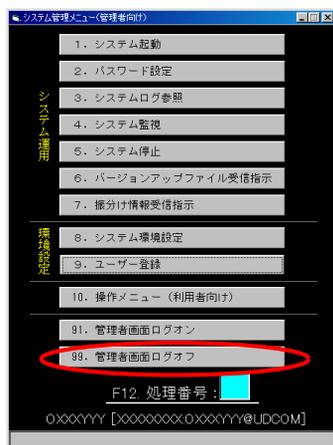


「F1. 起動」を選択します



「OK」を選択します

③「システム管理メニュー(管理者向け)」から「99. 管理者画面ログオフ」を選択します。



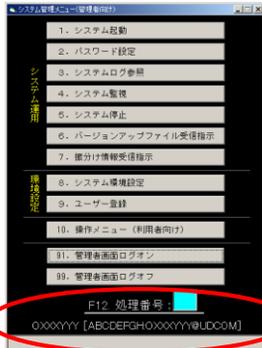
「99. 管理者画面ログオフ」を選択します

作業目的

TNS通信PKGに複数のIDを登録する場合、送受信テストに使用するIDを切り替えます。

作業手順

- ①端末のWindowsから「スタート」→「プログラム」→「新TNSシステム」→「バッチ管理メニュー」を選択し、「システム管理メニュー(管理者向け)」メニューを表示します。
- ②「システム管理メニュー(管理者向け)」にある「DIEX汎用ユーザーID」の表示がインストール作業を行う「EDI・ID登録完了のご案内」にある「管理サーバID」と一致するか確認します。



拡大

DIEX

F12. 処理番号 : []
OXXXXYY [ABCDEFGH]

u-DIEX

F12. 処理番号 : []
OXXXXYY [OXXXXYY@UDCOM]

両方

F12. 処理番号 : []
OXXXXYY [ABCDEFGH] OXXXXYY@UDCOM

「EDI・ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX汎用サービス
EDI・ID登録完了のご案内

【設定情報】

・DIEX汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
 ・アカウント : OXXX
 ・EDI-ID : OXXXXYY
 ・EDI-IDパスワード : []
 ・管理サーバID : [ABCDEFGH]
 ・管理サーバパスワード : XXXXXXXX

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

プロセスID登録完了のご案内

【設定情報】

会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
 ・プロセスID : [OXXXXYY@UDCOM]

【設定パラメータ情報】

・u-DIEXゲートウェイQDN : p-ftp.u-diex.jp
 ・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21
 ・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG
 ・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYY

インストール作業を行う管理サーバIDまたはプロセスIDの値と一致するかを確認します

1

一致する場合

「8. パスワード登録」へ進みます

2

不一致の場合

次ページへ進みます

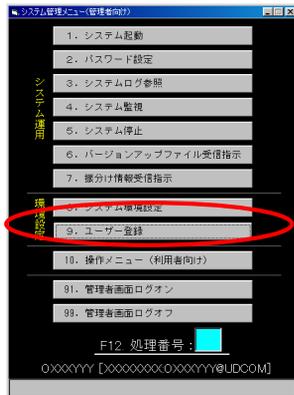
③利用者名称の切替を行う為、ユーザー登録情報を確認します。



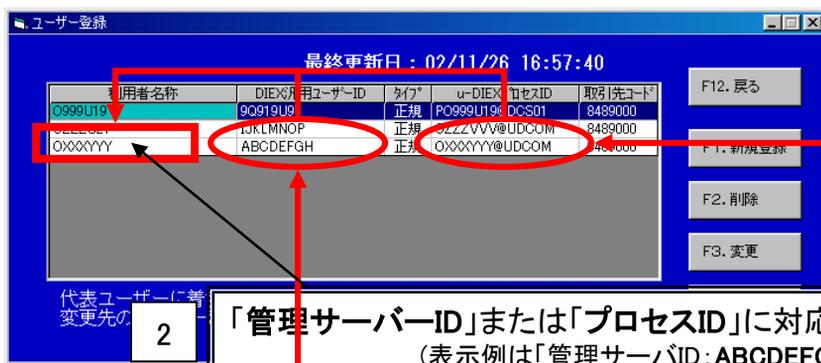
注意

画面をクリックしないで下さい

- ③ - ② においては「ユーザー登録」画面の登録行やボタンをクリックしないで下さい。
(画面の表示内容の確認を実施して下さい)



「9. ユーザー登録」を選択します



「管理サーバーID」または「プロセスID」に対応する「利用者名称」を確認する。
(表示例は「管理サーバーID: ABCDEF GH」→「利用者名称: OXXXYYYY」の場合)

「EDI-ID登録完了のご案内」のご案内資料

DIEX 汎用サービス
EDI-ID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・DIEX 汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
- ・アカウント : OXXX
- ・EDI-ID : OXXXYYYY
- ・EDI-IDパスワード :
- ・管理サーバーID : ABCDEF GH

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

プロセスID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
- ・プロセスID : OXXXYYYY@UDCOM

DIEX

「EDI-ID登録完了のご案内」の「管理サーバーID」に対応する「DIEX 汎用ユーザーID」の「利用者名称」を確認します。

u-DIEX

「プロセスID登録完了のご案内」の「プロセスID」に対応する「u-DIEX プロセスID」の「利用者名称」を確認します。

両方

「プロセスID登録完了のご案内」の「プロセスID」に対応する「u-DIEX プロセスID」の「利用者名称」を確認します。

利用者名称	DIEX汎用ユーザーID	タイプ	u-DIEX汎用ID	取引先コード
O999U19	O001U01	正規	O999U19@DC01	8489000
OZZZU21	IJKLMNOP	正規	OZZZVVV@UDCOM	8489000
OXXXXYY	ABCDEFGH	正規	OXXXXYY@UDCOM	8489000

代表ユーザーに着色されます。代表ユーザーの指定を変更する場合は、変更先のユーザーをダブルクリックで指定して下さい。

④利用者名称の切替を行います。

管理者画面ログイン

ログインユーザー情報

利用者名称 : QZZZU21

新利用者名称 : OXXXXYY

F1. 変更

F12. 戻る

4

「F1.変更」を選択します

メッセージ

利用者名称が変更されました。

OK

5

「OK」を選択します

システム管理メニュー(管理者向け)

システム運用

1. システム起動

2. パスワード設定

3. システムログ参照

4. システム監視

5. システム停止

6. バージョンアップファイル受信指示

7. 振分け情報受信指示

環境設定

8. システム環境設定

9. ユーザー登録

10. 操作メニュー (利用者向け)

91. 管理者画面ログイン

99. 管理者画面ログオフ

F12. 処理番号 : OXXXXYY

OXXXXYY:XXXXXXXXXXXXOXXXXYY@UDCCOM]

6

表示中の「利用者名称」が、「EDI・ID登録完了のご案内」の管理サーバーIDに対応する「利用者名称」に変更されたことを確認します。

u-DIEX

両方

u-DIEX(汎用)サービスにご加入の
お客様は**次ページ**へ進んでください。

DIEX

DIEX(汎用)サービスのみにご加入の
お客様は「**9. データ送受信テスト準備**」
へ進んでください。

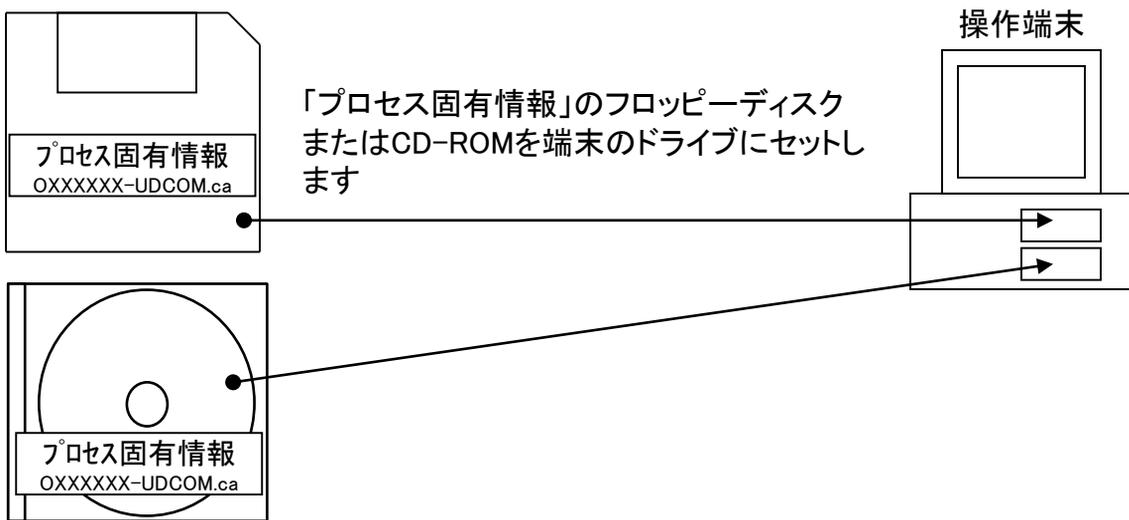
作業目的

u-DIEX(汎用)サービス利用の為、プロセスIDに対応するパスワードを登録します。

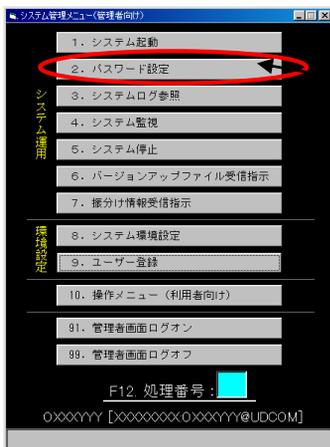
作業手順

①「パスワード設定」を行います。

弊社から送付した「プロセス固有情報」のフロッピーディスクまたはCD-ROMをドライブにセットしてください。



②「システム管理メニュー(管理者向け)」から「2. パスワード設定」を選択します。



「2. パスワード設定」を選択します

③「パスワード設定」画面が表示されますので、必要情報を登録します。



注意

パスワードの管理について

- ・「パスワード設定」画面で設定した本パスワードは一度設定してしまうと変更できません。
- ・本パスワードとして入力できる値は英数字のみで大文字、小文字を区別します。
- ・本パスワードは再インストール時に必要になりますので、忘れないように管理して下さい。
また、プロセス固有情報も必要になりますので、フロッピーディスクも大切に保管して下さい。

1 「u-DIEXパスワード」を選択します

2 「仮パスワード」に「プロセスID登録完了のご案内」に記載されている「u-DIEXログイン仮パスワード」を入力してください

※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

3 「本パスワード」に任意の8文字以内の文字列を入力します。

※本パスワードとして入力できる値は英数字のみです
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

「プロセスID登録完了のご案内」のご案内資料

プロセスID登録完了のご案内

・

・

・

【設定情報】

・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ

・

・プロセスID : OXXXXYY@UDCOM

【設定パラメータ情報】

・u-DIEXゲートウェイFQDN : XXXX.u-diex.jp

・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21

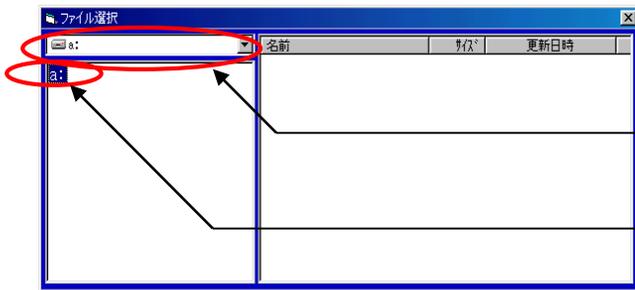
・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG

・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYY

・

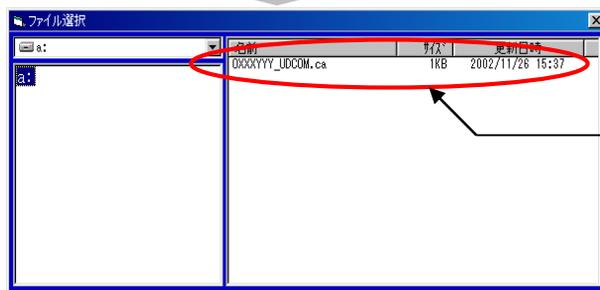
4 「プロセス固有情報」の「選択」ボタンを選択します

- ④「ファイル選択」画面でプロセス固有情報を保存したフロッピーディスクまたはCD-ROMの情報を指定します



1 ディスクドライブを選択します

2 ドライブ名を選択します



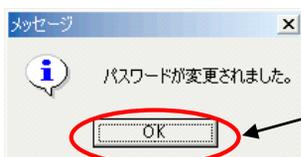
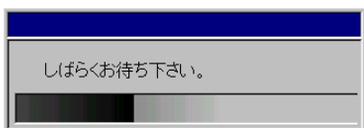
3 ディスクの内容が表示されますので、「OXXXXYY_UDCOM.ca」をダブルクリックします

※ 'OXXXXYY' はEDI-ID

- ⑤ プロセス固有情報ファイルの選択が完了すると、「パスワード設定」画面に戻ります。
「F1.変更指示」ボタンを選択し、パスワードの登録を実施します。



1 「F1.変更指示」を選択します



2 「OK」を選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>パスワードは正しく登録されましたか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「2. パスワード登録」を選択後、必要な情報を入力し、「F1.変更指示」をクリック → ⑤—1</p> <p>【結果】 「パスワードが変更されました」のメッセージが表示されることを確認 →</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div>⑤—2</div> </div>	

OKならば次ページに進んでください。
NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. 通信パッケージのシステム起動は完了していますか？
システム管理メニューから「1. システム起動」を選択し、システム起動を実施してください。
→ 「6. システム起動 ①～②」
2. 仮パスワードは正しく入力されていますか？
仮パスワードの入力においては大文字と小文字が区別されます。入力内容が画面に表示されませんので注意してパスワードの入力を実施してください。
→ 「8. パスワード登録 ③—2」
3. u-DIEX(汎用)サービス用プロセスIDの登録は完了していますか？
プロセスIDの登録が完了していない場合、「パスワード設定」画面にて「u-DIEXパスワード」が選択できません。
「5. u-DIEX のユーザー登録」の手順にてプロセスIDの登録が完了しているか、再度確認してください。
4. システム環境設定メニューの接続先が「DIEX汎用のみ」になっていませんか？
接続先は「両方」もしくは「u-DIEXのみ」を選択します。
→ 「4. u-DIEX環境の設定 ③」

5. プロセス固有情報ファイルの指定を間違えたファイルで選択していませんか？
 選択したファイルの指定が誤っていないか確認してください。
 → 「8. パスワード登録 ④」

6. FW、ルーター等の通信機器のIPフィルタリング透過設定は正しく登録されていますか？
 u-DIEXセンターとの透過設定を確認してください。

通信パッケージ導入端末(貴社)		通信開始方向	u-DIEXセンター	
IPアドレス	ポートNo.		FQDN	ポートNo.
XXX.XXX.XXX.XXX	ANY	←	p-ftp.u-diex.jp	20
		→	p-ftp.u-diex.jp	21

※u-DIEXセンターのIPアドレスは弊社までお問い合わせ下さい。

7. VPNの設定登録は完了していますか？
 JNX経由でu-DIEX(汎用)サービスをご利用いただく場合、事前に「u-DIEXセンター」とのVPN設定登録が完了している必要があります。

JNXセンターホームページよりご確認ください。

<http://www.jnx.ne.jp/index.html>

作業目的

TNS通信PKG(新規版)にてDIEX(汎用)サービス(またはu-DIEX(汎用)サービス)が利用できることを確認するため、自分宛てへのデータ送受信テストの準備を行います。

作業手順

①テストデータの準備(作成)を行います。

任意の情報でテキストファイルを作成し、保存します。



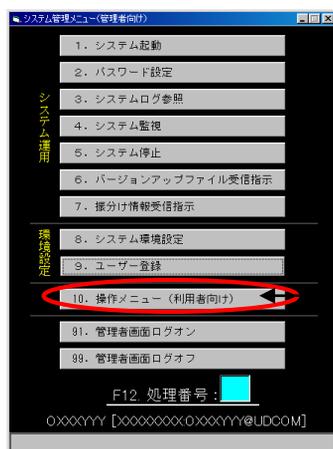
テストデータ作成例

メモ帳等を使用しテストデータを作成し保存します

※ファイル名、保存場所は任意です

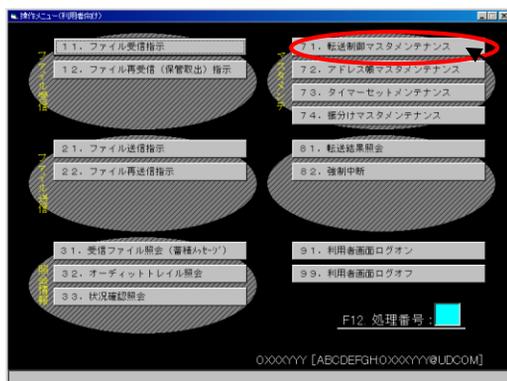
※作成したデータは項番9、11の「データ送受信テスト」にて使用します

②「システム管理メニュー(管理者向け)」から「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します。



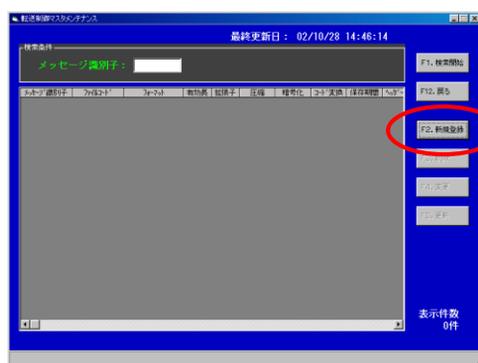
「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します

③「操作メニュー(利用者向け)」から「71. 転送制御マスタメンテナンス」を選択します。



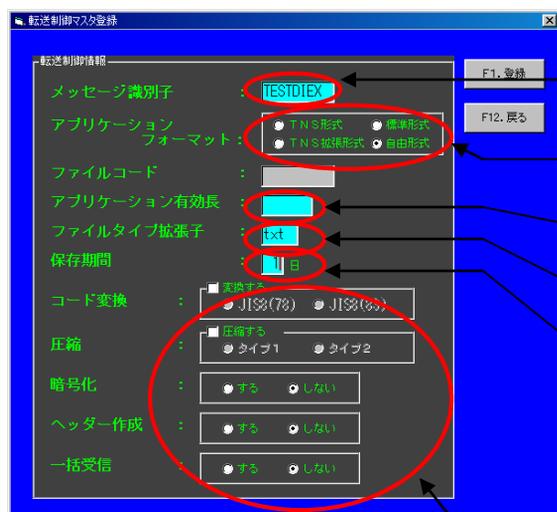
「71. 転送制御マスタメンテナンス」を選択します

④「71. 転送制御マスタメンテナンス」から「F2.新規登録」を選択します。



「F2.新規登録」を選択します

⑤「転送制御マスタ登録」画面から転送制御情報を入力します。



1 「TESTDIEX」を入力してください

2 「自由形式」を選択してください

3 何も入力しないでください(空白)

4 「txt」を入力してください

5 「1」を入力してください

6 上記以外の項目は変更しないで下さい

(入力値例)

項番	転送制御情報	入力値
1	メッセージ識別子	TESTDIEX
2	アプリケーションフォーマット	自由形式
3	アプリケーション有効長	空白(記入無し)
4	ファイルタイプ拡張子	txt
5	保存期間	1
6	コード変換	チェック無し(変換しない)
	圧縮	チェック無し(圧縮しない)
	暗号化	しない
	ヘッダー作成	しない
	一括受信	しない

⑥ 転送制御情報を「F1.登録」を選択して登録します。

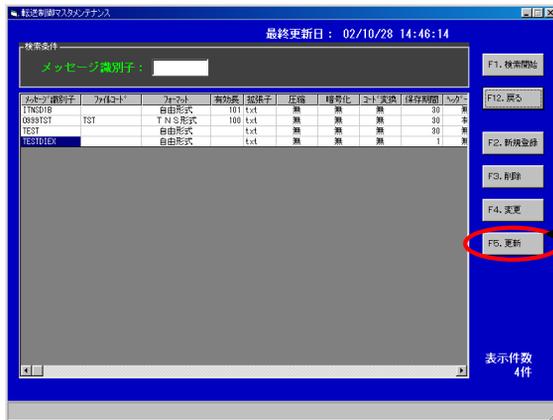
1 「F1.登録」を選択してください

2 「OK」を選択してください

⑦ 「F12.戻る」を選択して転送制御情報を終了します。

1 「F12.戻る」を選択します

⑧「転送制御マスタメンテナンス」画面で「F5.更新」を選択し、入力した情報を更新します。

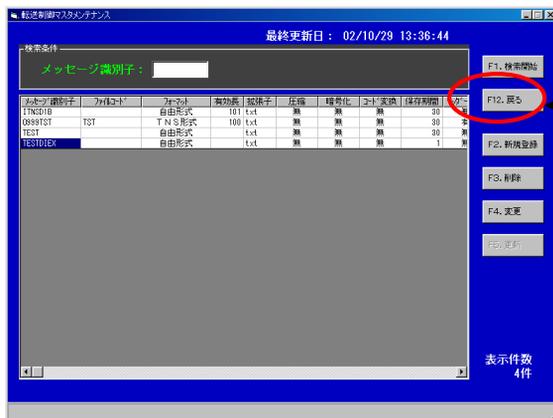


「F5.更新」を選択します



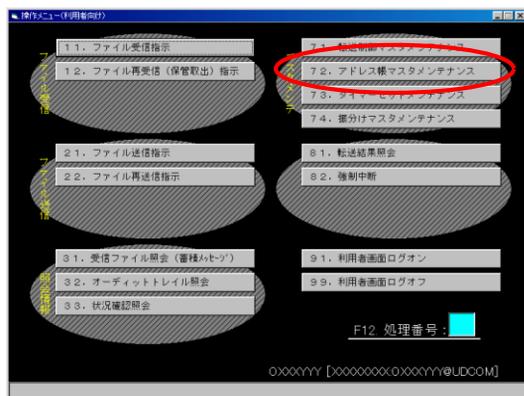
「OK」を選択します

⑨「F12.戻る」を選択して「転送制御マスタメンテナンス」画面を終了します。



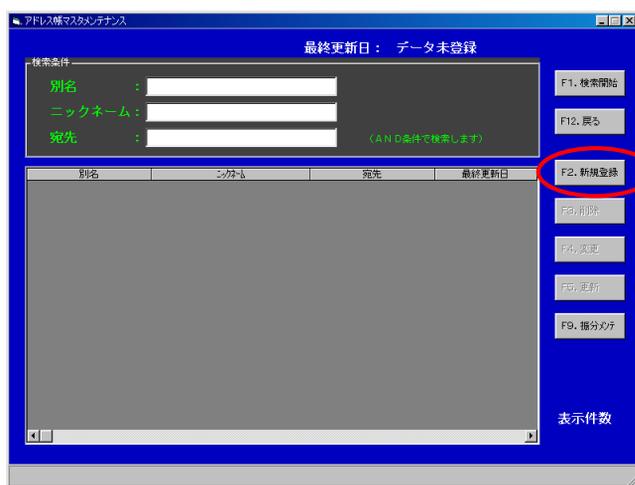
「F12.戻る」を選択します

⑩ 「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「72. アドレス帳マスタメンテナンス」を選択します。



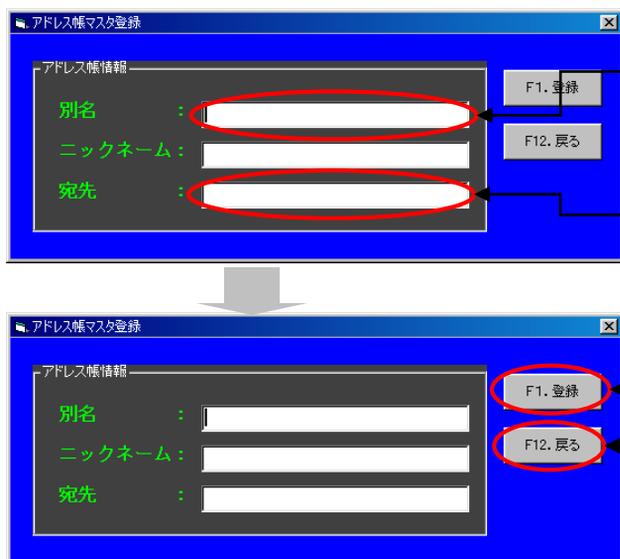
「72.アドレス帳マスタメンテナンス」を選択します

⑪ アドレス帳マスタメンテナンス画面の「F2. 新規登録」を選択して下さい。



「F2. 新規登録」を選択します

⑫ 「アドレス帳マスタ登録」画面からアドレス帳情報を入力し登録を行います。



1 別名の項目に、自分自身の取引先コード(御社の取引先コード(5桁)+取引先詳細コード(3桁))を入力して下さい。
(詳細は「5. DIEX/u-DIEXのユーザー登録」③³をご参照下さい)

2 宛先の項目に、自分自身のユーザーID
OXXX.OXXXYYYを入力して下さい。
↑ ↑
アカウント(4桁) EDI-ID(7桁)

3 【F1. 登録】を選択して下さい。

4 【F12. 戻る】を選択して下さい。



注意

ご加入のEDI-IDが複数ある場合

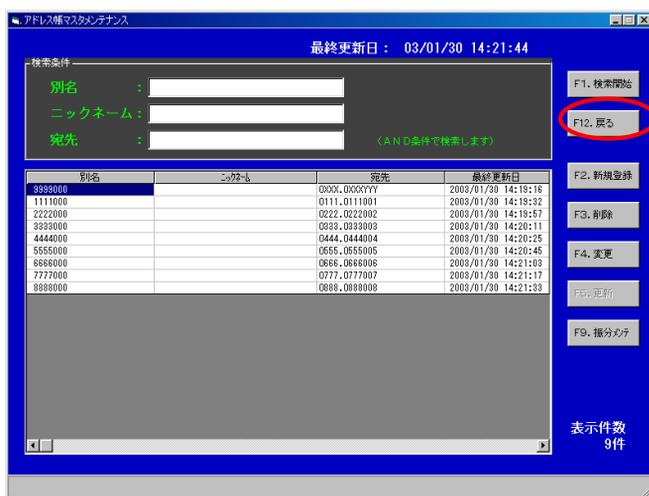
・⑫ ①-③の手順はご加入のEDI-ID分、繰返し実施して下さい

⑬「F5. 更新」を選択します。



「F5. 更新」を選択して下さい。

⑭「F12.戻る」を選択して「アドレス帳メンテナンス」画面を終了します。



「F12.戻る」を選択します



注意 テスト準備作業は1回のみです

- ・本作業(「9. データ送受信テスト準備」)は、1端末につき1度だけ実施して頂ければ結構です。

DIEX

両方

DIEX(汎用)サービスにご加入の
お客様は**次ページ**へ進んでください。

u-DIEX

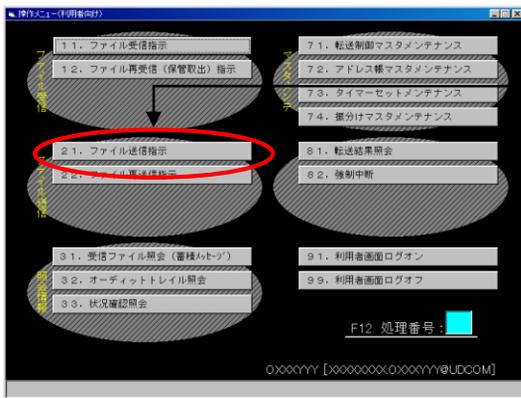
u-DIEX(汎用)サービスのみにご加入
のお客様は「**11. 振分け情報の受信**」へ
進んでください。

作業目的

TNS通信PKG(新規版)にてDIEX(汎用)サービスが利用できることを確認するため、
自分宛てにデータの送受信を行います。

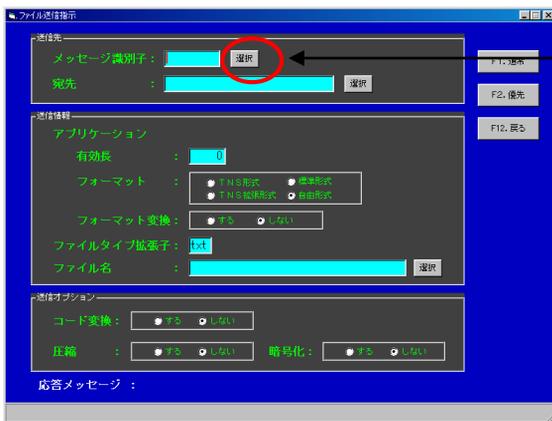
作業手順

①「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「21. ファイル送信指示」を選択します。



「21.ファイル送信指示」を選択します

②「ファイル送信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください



2

登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

③「ファイル送信指示」画面で「宛先」を設定します。

ファイル送信指示

送信先

メッセージ識別子: ESTDIEX 選択

宛先: [] 選択

送信情報

アプリケーション

有効長: 0

フォーマット: [] [] []

フォーマット変換: [] []

ファイルタイプ拡張子: txt

ファイル名: [] 選択

送信オプション

コード変換: [] []

圧縮: [] [] 暗号化: [] []

応答メッセージ: []

1

宛先の「選択」ボタンを選択してください

別名選択

1111000
2222000
3333000
4444000
5555000
6666000
7777000
8888000
9999000

2

「別名選択」画面から①で登録したEDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください

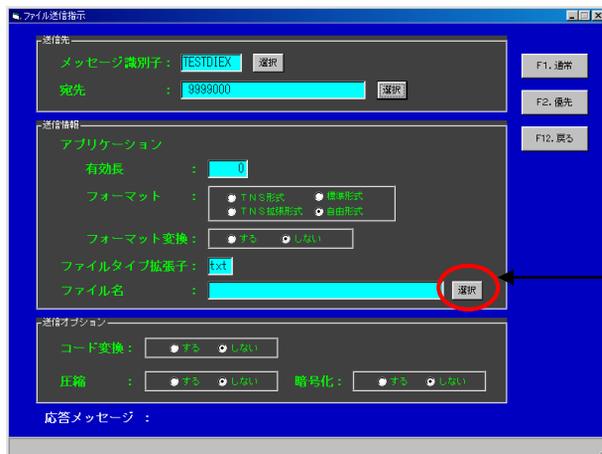


注意

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
 宛先の指定には充分ご注意ください。

④「ファイル送信指示」画面で「ファイル名」を設定します。

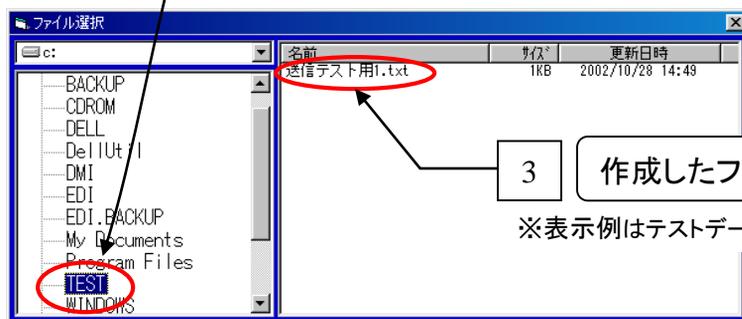


1 ファイル名の「選択」ボタンを選択してください



2 作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

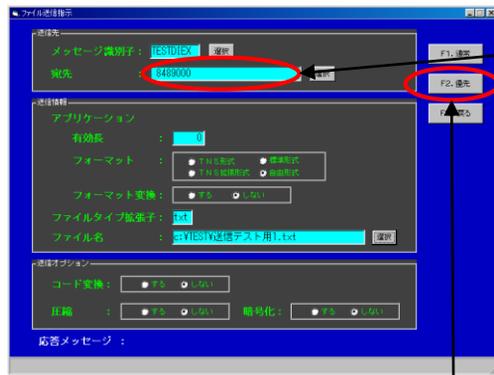
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



3 作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

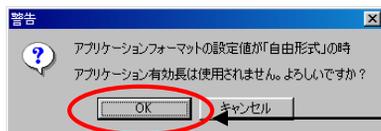
⑤ 「F2.優先」選択しデータを送信します。



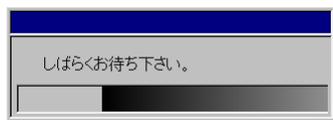
1 宛先を最終確認します

注意 宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください
誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

2 「F2.優先」を選択します



2 「OK」を選択します



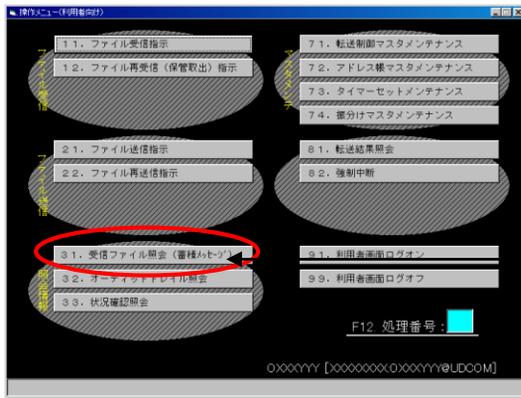
⑥ 処理が正常に終了したことを確認します。

1 「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを
確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

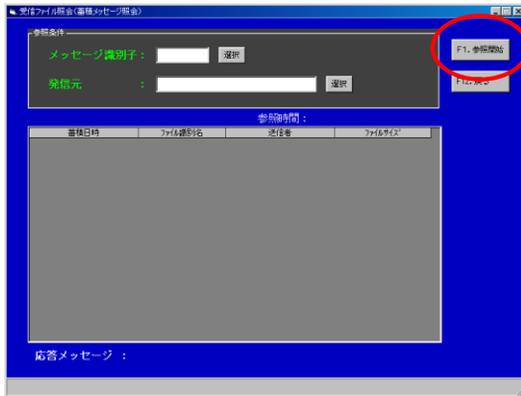
2 「F12.戻る」を選択します

⑦ データの送信結果を確認するため「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。



「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。

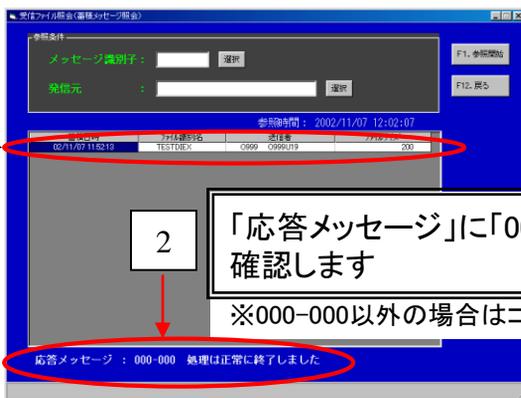
⑧ 「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を表示しますので、「F1.参照開始」を選択します。



1

「F1.参照開始」を選択します

しばらくお待ち下さい。



2

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

3

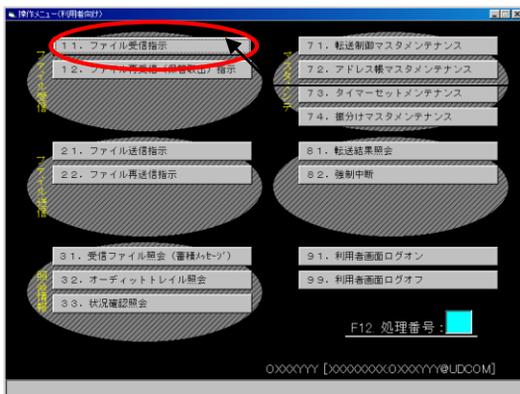
送信したデータが照会できることを確認します。

⑨「F12.戻る」を選択し、「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を終了します。



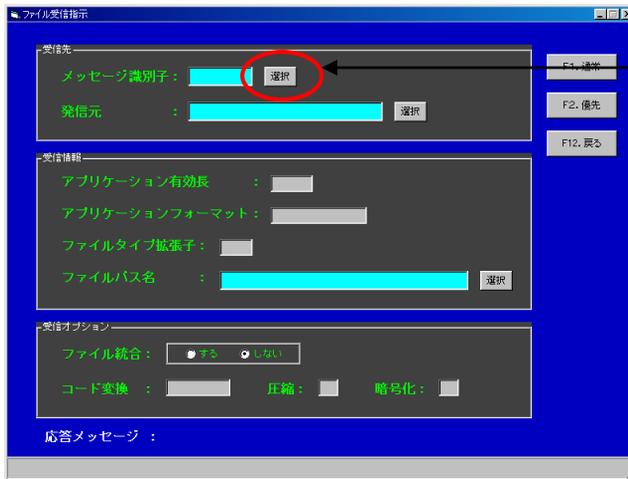
「F12.戻る」を選択します

⑩送信データを受信するため「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「11. ファイル受信指示」を選択します。



「F11.ファイル受信指示」を選択します

⑪「ファイル受信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

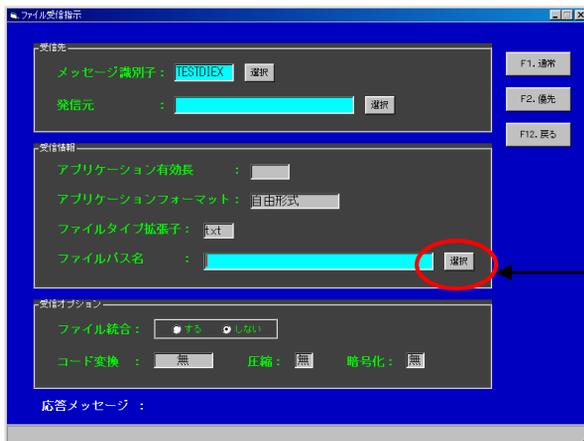
メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください



2

登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

⑫「ファイル受信指示」画面で「ファイルパス名」を設定します。



1

ファイルパス名の「選択」ボタンを選択してください



2

「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスをダブルクリックします

⑬「F2.優先」選択しデータを受信します。

「F2.優先」選択します



⑭処理が正常に終了したことを確認します。

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

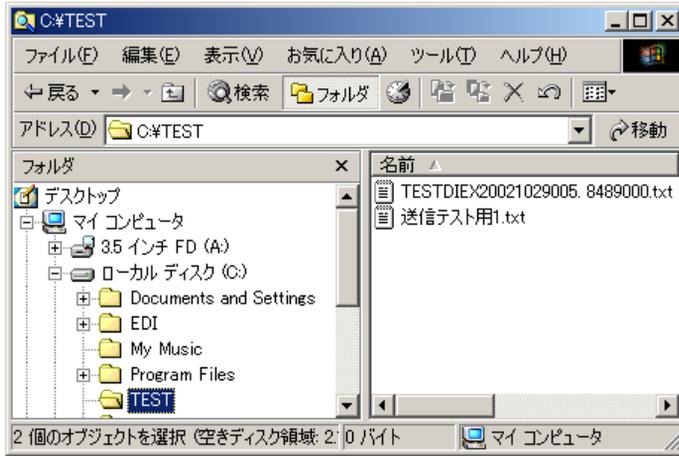
※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

2

「F12. 戻る」を選択します

⑮受信したデータファイルに問題ないことを確認します。

エクスプローラー等で受信したフォルダーにファイル存在し、内容が正しいことを確認します。



- ・受信したファイルが存在することを確認します
- ・ファイルを開いて内容が正しいことを確認します

1

受信したファイルのあるフォルダーを選択します

2

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>データの送信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → ⑥</p> <p>2. 「操作メニュー(利用者向け)」から「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」の「F1.参照照会」を選択する。 → ⑧ - 1</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑥ ⑧</div> </div> <p>2. 送信データが存在することを確認。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑬ - 2</div> </div>	
2	<p>データの受信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 受信時の応答メッセージを確認します。 → ⑭</p> <p>2. データの受信したフォルダーにファイルが存在し、ファイルの内容が正しいことを確認します → ⑮</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑭</div> </div> <p>2. 受信データが正しいことを確認。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑮</div> </div>	

トラブル発生時確認事項

現象を弊社窓口までご連絡願います。

u-DIEX

両方

u-DIEX(汎用)サービスにご加入のお客は**次ページ**へ進んでください。

DIEX

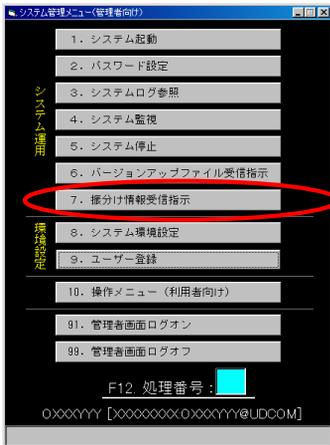
DIEX(汎用)サービスのみにご加入のお客は「12. データ送受信テスト (u-DIEX(汎用)センターとのテスト)」へ進んでください。

作業目的

u-DIEXセンターから「振分け情報」をダウンロードします。

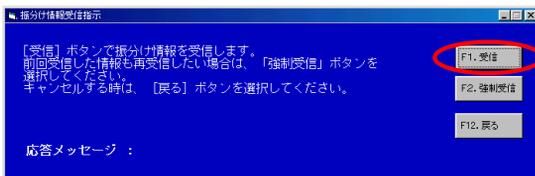
作業手順

①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「7. 振分け情報受信指示」を選択します。



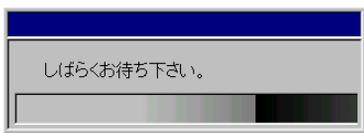
「7. 振分け情報受信指示」を選択します

②「F1.受信」を選択し振分け情報の受信を実施します。
受信完了後、「F12.戻る」ボタンを選択します。



1

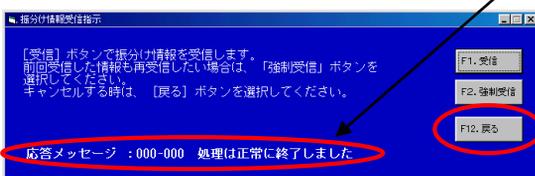
「F1.受信」を選択してください



2

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します。

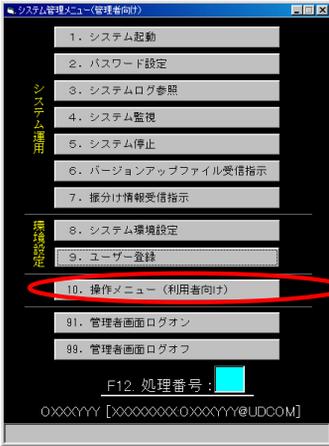
※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。



3

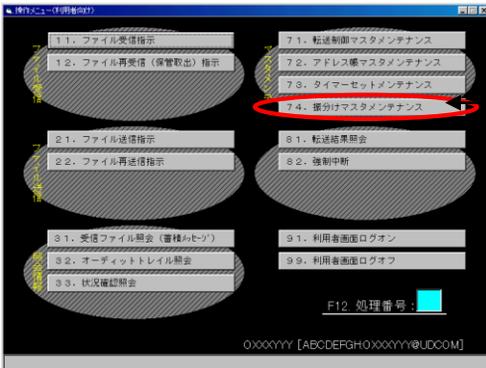
「F12.戻る」を選択してください

- ③「システム管理メニュー(管理者向け)」画面から「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択し、「操作メニュー(利用者向け)」画面を表示します。



「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します

- ④「操作メニュー(利用者向け)」画面から「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択します。



「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択します

- ⑤「振分けマスタメンテナンス」画面にて「F1.検索開始」を選択します。



「F1.検索開始」を選択します

⑥ 「F1.検索開始」の選択で表示される情報を確認します。

振分けマスタメンテナンス

最終更新日： 02/11/07 16:47:14

検索条件

宛先 :

メッセージ識別子 : (AND条件で検索します)

区分	宛先	プロセスID	MSG識別子	開放	送信パス	開始有効日
自動	0999.0999001	0999001@UDCOM		無効	/DIEX_COM/UDCOM-0999001/UDCOM-0999001	2002/10/18
自動	OTNS.OTNS051	OTNS051@UDCOM		無効	/DIEX_COM/UDCOM-OTNS051/UDCOM-0999001	2002/11/07
自動	OTNS.OTNSXTD	OTNSXTD@UDCOM		無効	/DIEX_COM/UDCOM-OTNSXTD/UDCOM-0999001	2002/11/07

表示件数 3件

F1. 検索開始
F12. 戻る
F2. 新規登録
F3. 削除
F4. 変更
F5. 更新
F9. エラー削除

下記のプロセスIDと、その開始有効日をご確認下さい。

- ① 自身のプロセスID
- ② パートナー登録の申込書に書かれた相手先のプロセスID

区分	宛先	プロセスID	開始有効日
自動	(自身のEDI-ID)	(自身のEDI-ID)@UDCOM	プロセスID利用開始日
自動	(相手先のEDI-ID)	(相手先のEDI-ID)@UDCOM	パートナー登録開始日
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>振分け情報は正常に受信できましたか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「7. 振分け情報受信指示」を選択後、「F1.受信」ボタンをクリック → ②—1</p> <p>【結果】 「000-000 振分け情報の受信が完了しました」のメッセージが表示されることを確認 →</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="text-align: center;">②—2</div> </div>	
2	<p>振分け情報はTNS通信PKGに取り込まれていますか？</p> <p>【確認方法】 操作メニュー(利用者向け)から「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択後、「F1.新規検索」ボタンを選択 (検索条件欄はブランクのまま結構です) → ⑤</p> <p>【結果】 「自身のプロセスID」「OTNSXTD@UDCOM」「OTNS051@UDCOM」の3ID分の振分け情報が表示されることを確認 →</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">u-DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="text-align: center;">⑥</div> </div>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. u-DIEXセンターに振分け情報が保存されているか？

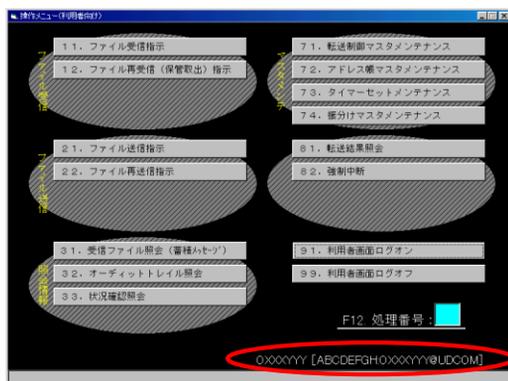
「F1.受信」ボタンクリック後、「841-550 フォルダー、ファイル未存在または、アクセス権なし」のメッセージが表示された場合、u-DIEXセンターの登録がされていない可能性があります。 → ②—1 弊社までお問合せください。

2. 振分けマスタメンテナンスに3ID分の振分け情報が登録されていない

センターに保存されている振分け情報テーブルの記載内容に誤りがある可能性があります。 → ⑥ 弊社までお問合せください。

3. 登録したEDI-IDでログインしているか？

「操作メニュー(利用者向け)」画面の右下にu-DIEX(汎用)サービス用のID(「OXXXXYY@UDCOM」の形式)が表示されていることを確認してください。 → ④



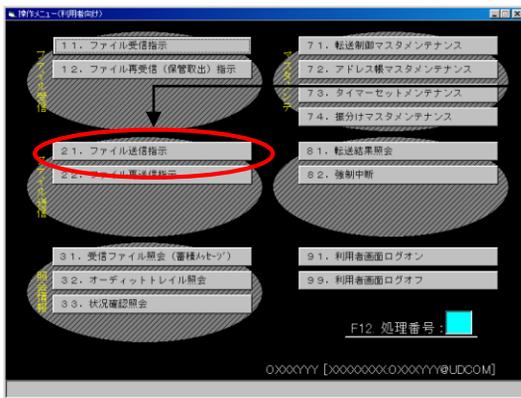
u-DIEX(汎用)サービスの登録したEDI-IDであることを確認します

作業目的

TNS通信PKG(新規版)にてu-DIEX(汎用)サービスが利用できることを確認するため、
自分宛てにデータの送受信を行います。

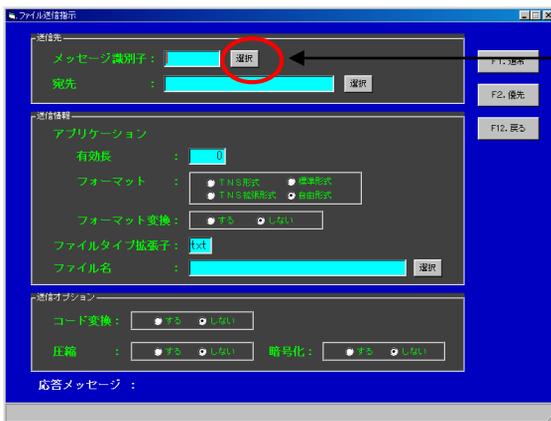
作業手順

①「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「21. ファイル送信指示」を選択します。



「21.ファイル送信指示」を選択します

②「ファイル送信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください



2

登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

③「ファイル送信指示」画面で「宛先」を設定します。

1

宛先の「選択」ボタンを選択してください

2

「別名選択」画面から①で登録したご加入の EDI-ID に対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の EDI-ID 以外を指定しないようご注意ください

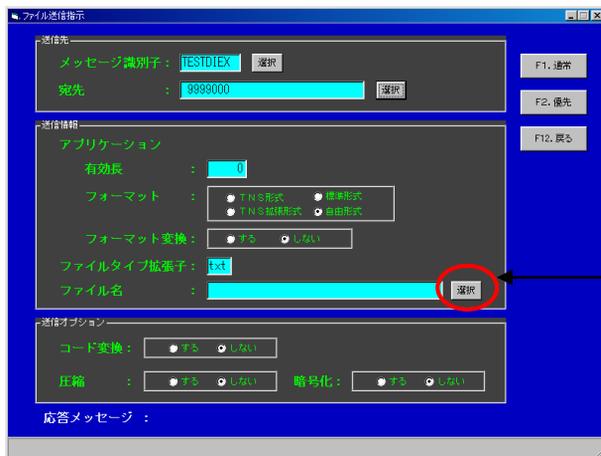


注意

宛先は確実にお客様自身の EDI-ID を選択してください

誤ってお客様自身の EDI-ID 以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
 宛先の指定には充分ご注意ください。

④「ファイル送信指示」画面で「ファイル名」を設定します。



1

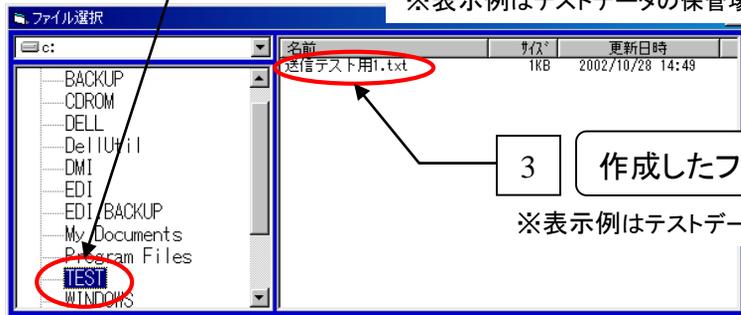
ファイル名の「選択」ボタンを選択してください



2

作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合

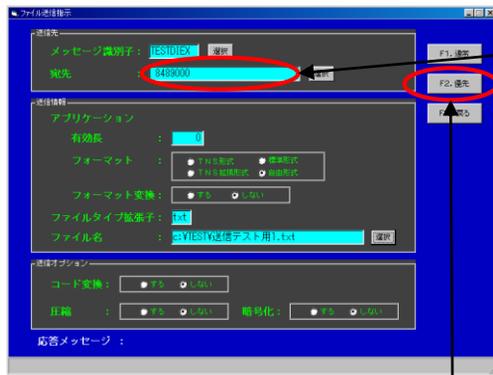


3

作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

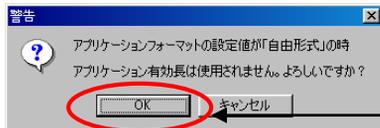
⑤ 「F2.優先」選択しデータを送信します。



1 宛先を最終確認します

注意 宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください
誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

2 「F2.優先」を選択します



3 「OK」を選択します



⑥ 処理が正常に終了したことを確認します。

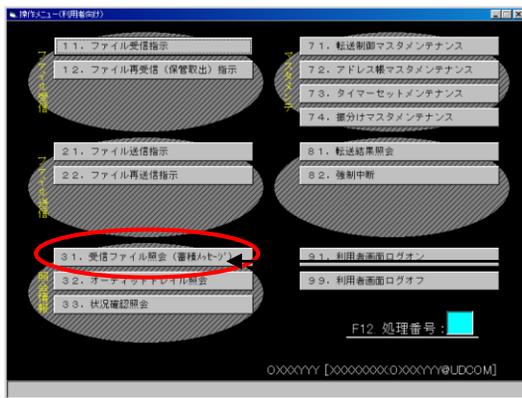


1 「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを
確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

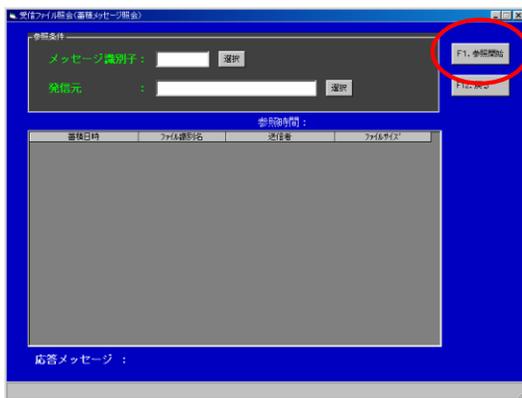
2 「F12.戻る」を選択します

⑦ データの送信結果を確認するため「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。



「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。

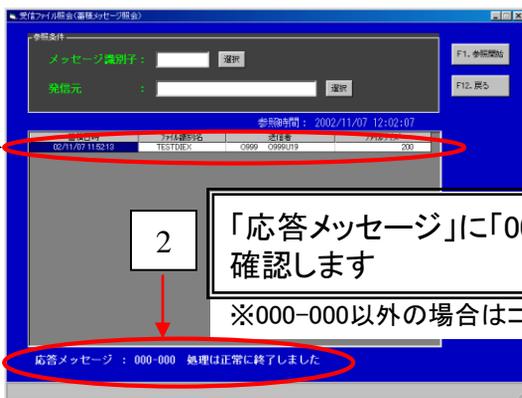
⑧ 「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を表示しますので、「F1.参照開始」を選択します。



1

「F1.参照開始」を選択します

しばらくお待ち下さい。



2

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

3

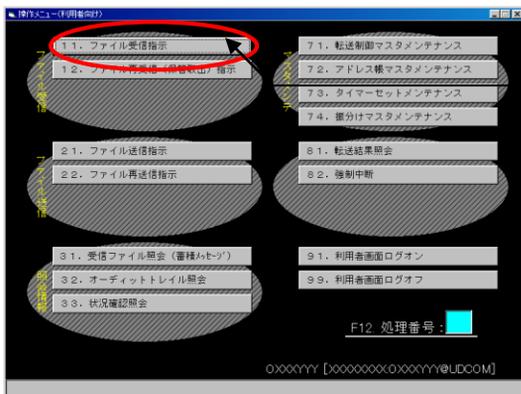
送信したデータが照会できることを確認します。

⑨「F12.戻る」を選択し、「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を終了します。



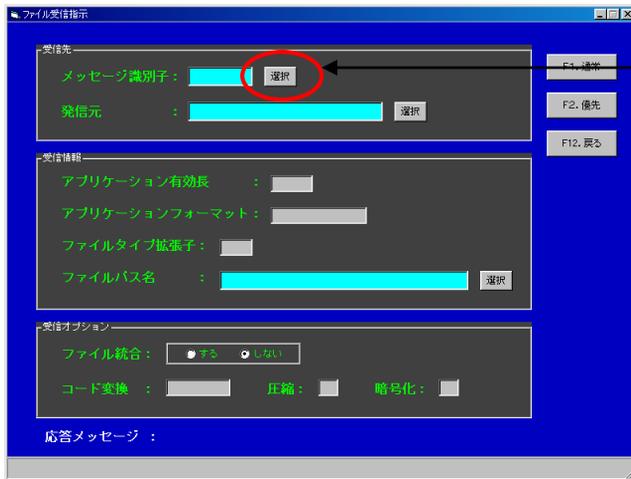
「F12.戻る」を選択します

⑩送信データを受信するため「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「11. ファイル受信指示」を選択します。



「F11.ファイル受信指示」を選択します

⑪「ファイル受信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

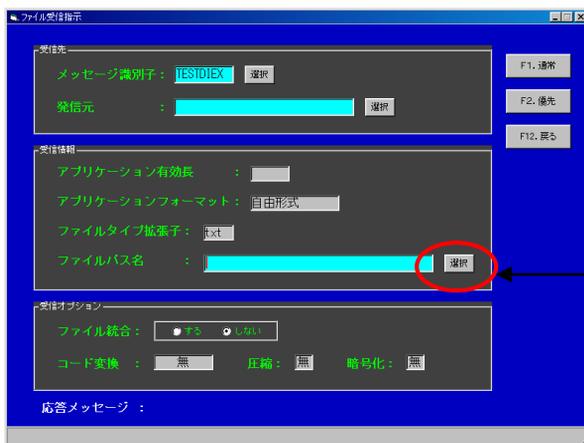
メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください



2

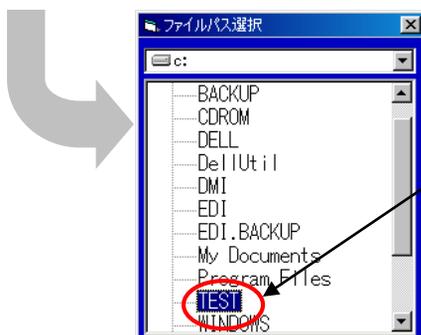
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

⑫「ファイル受信指示」画面で「ファイルパス名」を設定します。



1

ファイルパス名の「選択」ボタンを選択してください



2

「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスをダブルクリックします

⑬「F2.優先」選択しデータを受信します。

「F2.優先」選択します



⑭処理が正常に終了したことを確認します。

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

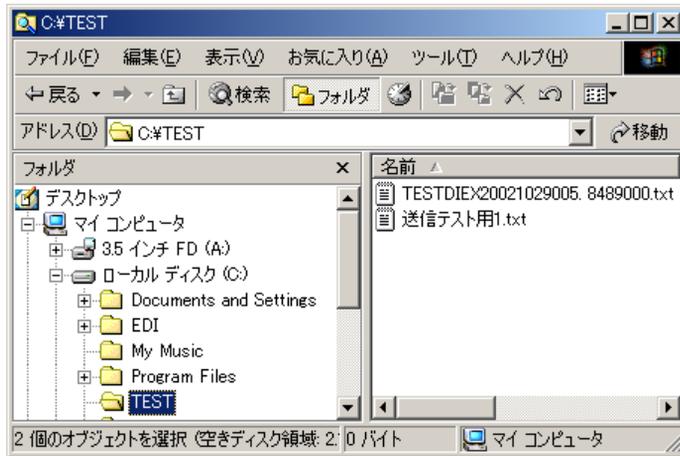
※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

2

「F12. 戻る」を選択します

⑮受信したデータファイルに問題ないことを確認します。

エクスプローラー等で受信したフォルダーにファイル存在し、内容が正しいことを確認します。



- ・受信したファイルが存在することを確認します
- ・ファイルを開いて内容が正しいことを確認します

1

受信したファイルのあるフォルダーを選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>データの送信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → ⑥</p> <p>2. 「操作メニュー(利用者向け)」から「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」の「F1.参照照会」を選択する。 → ⑧ - 1</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑥ ⑧</div> </div> <p>2. 送信データが存在することを確認。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑬ - 2</div> </div>	
2	<p>データの受信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 受信時の応答メッセージを確認します。 → ⑭</p> <p>2. データの受信したフォルダーにファイルが存在し、ファイルの内容が正しいことを確認します → ⑮</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑭</div> </div> <p>2. 受信データが正しいことを確認。 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">DIEX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; background-color: #e0ffe0;">両方</div> <div style="margin: 0 10px;">⑮</div> </div>	

トラブル発生時確認事項

現象を弊社窓口までご連絡願います。

ご加入されたEDI-ID(またはプロセスID)が複数ある場合は、

「7. 利用者名称の切替」

へ戻り、残りのEDI-ID(またはプロセスID)の
切替 ~ テスト送受信
までを行ってください。

全てのEDI-ID(またはプロセスID)についての
作業が完了している場合は
次ページへ進んでください。

完了

事前にご申請頂いたパートナー登録開始日より
業務利用できます。

パートナー登録開始日にお客様側では特に実施頂く作業は
ございません。



ご利用前に

TNS通信パッケージエラー事例集Webページのご案内

ご利用中にエラーが発生した場合には、以下のアドレスに
接続してWebページをご覧ください。

Webページはお気に入りに登録することをお勧めします。

<http://www.d-cruise.jp/udiex/pkg-qa/>

※オールトヨタイントラネットまたはインターネットへの接続が必要です。

ご協力ありがとうございました。

これより先の作業は問題発生時のみ実施します。

指示がない限り、作業をしないで下さい。

作業目的

TNS通信PKG(新規版)を削除し以前の環境に戻します。

OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 以外の場合

作業手順

**注意** アンインストールを実施する前に確認下さい。

- ・アンインストールプログラムを実行する時は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニュー(管理者向け)から「5. システム停止」を行いシステムが停止済みであることを確認してください。

1

端末のWindowsから「スタート」→「プログラム」→
「新TNSシステム」→「アンインストール」を選択します。



2

「アンインストールオプション」画面が表示されます。
画面に表示されるラジオボタンは「自動アンインストール」を
選択し、「次へ(N)」を選択します。



3

「アンインストール開始」画面が表示されます。
「アンインストール」を選択します

※環境によっては「共有コンポーネントの削除」画面が
表示されることがあります。
この画面が表示された時は、「すべていいえ」ボタンを
選択することをお勧めします。
「はい」を選択されますと、TNS通信PKG内の
アプリケーションが動作しなくなる可能性が有ります。



4

アンインストール開始画面が表示されます。
中央に表示されているゲージが右端までいけば、完了です。

以上で作業完了です。

OSが Windows Server 2008 R2(64bit) 又は Windows Server 2012 の場合

作業手順

**注意****アンインストールを実施する前に確認下さい。**

- ・アンインストールプログラムを実行する時は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニュー(管理者向け)から「5. システム停止」を行いシステムが停止済みであることを確認してください。

1

端末のWindowsから「スタート」→「プログラム」→
「新TNSシステム」→「アンインストール」を選択します。



2

「新TNSシステムとその関連コンポーネントをすべて削除します。よろしいですか？」
と表示されます。
「はい」を選択します。



3

「アンインストール状況」画面が表示されます。
中央に表示されているゲージが右端までいけば、完了です。



4

「新TNSシステムはご使用のコンピュータから正常に削除されました。」
と表示されます。
「OK」を選択します。

以上で作業完了です。

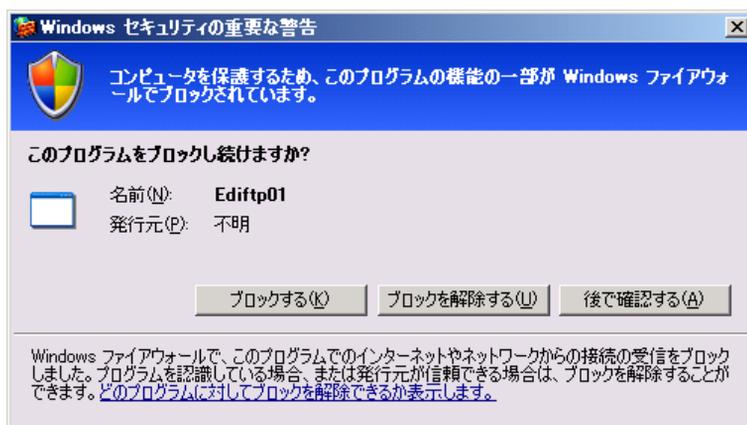
作業目的

TNS通信PKGご利用時の注意事項について、以下に説明します

ファイアウォールの設定について、以下に補足説明します

【補足】

1. お客様業務実施時に以下の警告画面が表示された場合は「ブロックを解除する」を選択して下さい。



※ 「3. ファイアウォール設定解除」を参照

お問い合わせ先

株式会社トヨタシステムズ カスタマーセンター

受付時間 24時間365日



電話

0120-202-399

(フリーコール)



Eメール

helpdesk@tns.toyotasystems.com